

平成 1 5 年度

流通サプライチェーン全体最適化情報基盤整備事業
(業務連携支援システム基本設計)

基本設計書

ユースケース図及び業務フロー

平成 16 年 3 月

日本電気株式会社

改版履歴

日付	版数	改版内容
2004 年 01 月 31 日	初版	新規

基本設計書作成責任者

日本電気株式会社：曾根田 雄一

検 印

目 次

1. はじめに.....	1 - 1
1.1 本書の位置付け.....	1 - 1
1.2 前提	1 - 1
1.3 本書の記述範囲.....	1 - 2
2. 本書で対象とするシステム利用者と業務.....	2 - 1
2.1 システム利用者の整理.....	2 - 1
2.2 対象業務の整理.....	2 - 1
2.2.1 受発注業務	2 - 2
2.2.2 物流業務.....	2 - 2
2.2.3 決済業務.....	2 - 3
2.2.4 商品マスタ管理業務.....	2 - 3
2.2.5 POS 売上データ交換業務.....	2 - 3
2.2.6 在庫データ交換業務.....	2 - 4
2.2.7 特売企画データ交換業務.....	2 - 4
3. ユースケース図.....	3 - 1
3.1 定番受発注(UC01).....	3 - 2
3.2 出荷準備・出荷(UC02).....	3 - 3
3.3 入荷準備・入荷(UC03).....	3 - 4
3.4 仕入確定(UC04)	3 - 5
3.5 支払確定(UC05)	3 - 6
3.6 商品マスタ管理(UC06).....	3 - 7
3.7 POS 売上データ交換(UC07)	3 - 8
3.8 在庫データ交換(UC08).....	3 - 9
3.9 特売企画データ交換(UC09).....	3 - 10
4. 目的レベルアクティビティ図.....	4 - 1
4.1 定番受発注に関する目的レベルアクティビティ図	4 - 1
4.1.1 定番発注データ登録(UC0101)	4 - 1
4.1.2 定番発注送信(UC0102)・定番発注受信(UC0103)	4 - 2
4.1.3 定番受注確認(UC0104)	4 - 3
4.1.4 定番受注回答送信(UC0105)・定番受注回答受信(UC0106).....	4 - 4
4.1.5 発注履歴&ステータス参照(UC0107).....	4 - 5

4.1.6 受注履歴&ステータス参照(UC0108).....	4-6
4.2 出荷準備、出荷に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-7
4.2.1 出荷予定通知送信(UC0201)・出荷予定通知受信(UC0202).....	4-7
4.2.2 出荷予定参照(UC0203).....	4-8
4.2.3 出荷指示書作成(UC0204).....	4-9
4.2.4 出荷確定(UC0205).....	4-10
4.2.5 出荷履歴参照(UC0206).....	4-11
4.2.6 出荷確定通知送信(UC0207)・出荷確定通知受信(UC0208).....	4-12
4.2.7 出荷案内書作成(UC0209).....	4-13
4.3 入荷準備・入荷に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-14
4.3.1 入荷予定通知送信(UC0301)・入荷予定通知受信(UC0302).....	4-14
4.3.2 入荷予定参照(UC0303).....	4-15
4.3.3 入荷確定(UC0304).....	4-16
4.3.4 入荷履歴参照(UC0305).....	4-17
4.3.5 入荷確定通知送信(UC0306)・入荷確定通知受信(UC0307).....	4-18
4.4 仕入確定に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-19
4.4.1 仕入通知送信(UC0401)・仕入通知受信(UC0402).....	4-19
4.4.2 売上通知送信(UC0403)・売上通知受信(UC0404).....	4-20
4.4.3 仕入データ参照(UC0405).....	4-21
4.4.4 売上データ参照(UC0406).....	4-22
4.4.5 仕入訂正データ登録(UC0407).....	4-23
4.4.6 売上訂正データ登録(UC0408).....	4-24
4.5 仕入確定に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-25
4.5.1 支払データ作成(UC0501).....	4-25
4.5.2 請求データ作成(UC0502).....	4-26
4.5.3 請求通知送信(UC0503)・請求通知受信(UC0504).....	4-27
4.5.4 支払案内送信(UC0505)・支払案内受信(UC0506).....	4-28
4.5.5 支払データ参照(UC0507).....	4-29
4.5.6 請求データ参照(UC0508).....	4-30
4.5.7 支払内容確定(UC0511).....	4-31
4.5.8 請求内容確定(UC0512).....	4-32
4.6 商品マスタ管理に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-33
4.6.1 各種マスタメンテナンス(商品以外)(UC0601).....	4-33
4.6.2 商品マスタメンテナンス(UC0602).....	4-34
4.6.3 商品マスタ送信(UC0603)・商品マスタ受信(UC0604).....	4-35
4.6.4 商品マスタメッセージ確認&登録(UC0605).....	4-36
4.6.5 店舗別定番品揃えメンテナンス(UC0606).....	4-37

4.6.6 商品マスタ参照(UC0607)	4-38
4.7 POS 売上データ交換に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-39
4.7.1 POS 売上通知送信(UC0701)・POS 売上通知受信(UC0702).....	4-39
4.7.2 POS 売上通知確認(UC0703).....	4-40
4.8 在庫データ交換に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-41
4.8.1 在庫通知送信(UC0801)・在庫通知受信(UC0802)	4-41
4.8.2 在庫通知確認(UC0803)	4-42
4.9 特売企画データ交換に関する目的レベルアクティビティ図.....	4-43
4.9.1 特売情報通知送信(UC0901)・特売情報通知受信(UC0902)	4-43
4.9.2 特売情報通知確認(UC0903)	4-44
付録.1 アクター一覧	4-1

1. はじめに

1.1 本書の位置付け

本書は、経済産業省の「平成 15 年度 流通サプライチェーン全体最適化情報基盤整備事業」の事業目的に沿って設置された、SCM モデル委員会において実施された「ビジネスプロセスモデル調査」の結果に基づき、流通サプライチェーンにおけるビジネスパターンをシステム化する「ビジネスモジュール」のシステム機能要件を明確にすることを目的とする。

1.2 前提

本基本設計では、大きくビジネスモジュールと業務システムの設計を行っている。ビジネスモジュールは、企業間のビジネス連携(サプライチェーン)に関わるプロセスの管理を行う。業務システムは、各企業の業務サービスをシステム利用者に対して提供する。

本基本設計では、ビジネスモジュールについて、本基本設計の結果に基づいて動作させるために必要な機能を明確にする。

一方、業務システムについては、それが満たすべき機能を規定するものではない。本基本設計での業務システムに関する設計は、ビジネスモジュールを用いた業務システムを構築する際の雛型として行ったものであり、各社の業務システムを設計する際には、必要な機能を追加、修正等の企業にあわせたカスタマイズを行うことが前提となる。

1.3 本書の記述範囲

本書では、先の SCM モデル委員会で実施されたビジネスプロセスモデル調査で検討された受発注等の業務、及び POS データ交換業務、在庫データ交換業務、特売企画データの交換業務を検討の範囲とする。

これらの業務の内容及びその利用者は、2 章にて記述する。

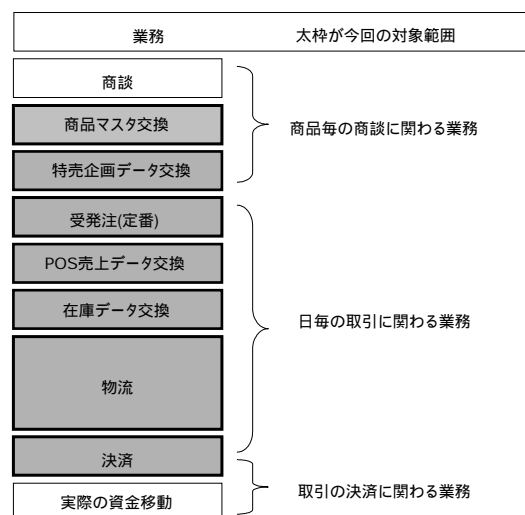


図 1.1 本書で対象としている業務

ビジネスモジュールのシステム機能要件の検討は、以下の手順で行った。これらにより、システムの利用者と、システムが持つ機能を洗い出すことができる。

システムの利用者(アクタ)の明確化

アクター一覧としてまとめる。

各パブリックフロー()の処理パターンの実行に必要な機能の明確化

UML ユースケース図としてまとめる。

ユースケース図内の個々のユースケースについて、その機能の内容の明確化

UML アクティビティ図として記述する。

() パブリックフローとは、企業間での情報交換のこと、また、そのための作業の流れや情報の流れのことである。SCM モデル委員会の「ビジネスプロセスモデル調査」の中で検討されている。詳細は、2.3 節にて説明している。

2. 本書で対象とするシステム利用者と業務

2.1 システム利用者の整理

ビジネスモジュールのシステム利用者は、発注担当者、受注担当者、商品管理者等が考えられる。これを抽象レベルで分類したものを、次に示す。

これらを詳細に分類したシステム利用者一覧を、アクター一覧として付録.1に記述する。

表 2.1 システム利用者概要

システム利用者分類	概要
発注者	商品を購入し、対価としてその代金を支払う。小売企業や卸企業を指す。
受注者	商品を販売し、対価としてその代金を受け取る。卸企業やメーカーを指す。
入荷拠点	商品を入荷し、入荷予定情報とつき合わせて検品を行い、入荷結果情報を作成する。TC(小売企業や 3PL 運営)等を指す。
出荷拠点	出荷予定情報に従って商品を出荷し、出荷実績を作成する。DC(卸企業や 3PL 運営)等を指す。

2.2 対象業務の整理

ビジネスモジュールのシステムが対象とする業務を以下に定義する。

表 2.2 設計対象業務

業務	内容
受発注	商品の発注、及びそれに伴う受注に関連する業務
物流	商品の物理的な移動(入荷/出荷)に伴う業務
決済	仕入/売上の管理、代金の支払/請求に伴う業務
商品マスタ管理	商品の仕様情報、及び受発注のために必要な情報(取引条件等)の共有に伴う業務
データ交換	小売企業/卸企業/メーカーとの間で、次のデータの交換を行う業務 ・ POS 売上データ交換 ・ 在庫データ交換 ・ 特売企画データ交換

なお、上記の中で、POS データ交換、在庫データ交換、特売企画データ交換に関しては、先のビジネスプロセスモデル調査にて業務の詳細の検討がなされていないため、これらに関する検討は、各業務に対応するデータ (JEDICOS-XML ファイル) の交換機能にとどめる。

以下、各業務の概要について記述する。また、各業務の UML ユースケースを第 3 章に、各ユースケースの UML 目的レベルアクティビティ図を第 4 章にそれぞれ示す。

2.2.1 受発注業務

受発注業務とは、予め決定された取引条件に基づき、発注条件として未定の情報(定番発注の場合は、基本的に日毎の発注数量)を決定する業務を指す。

これは、さらに次のような処理に分類することができる。

- ・ 発注処理：発注者が受注者に対して、商品の発注を行う業務に関連する処理
- ・ 受注処理：受注者が発注者から注文を受け取り、必要な利用者に対してそれに関する情報を発信する業務に関連する処理

なお、本基本設計においては、各店舗にて発生した発注は、発注者である小売企業の本部にてまとめられ、一括して発注されることを前提としている。

本基本設計では、Web 業務アプリケーションとしては定番の受発注業務を対象とし、特売の受発注は発注データの送受信のみを検討の範囲とする。

また、店舗が商品を発注する際に、複数の取引先から発注先を選択することはないことを前提としている。(先のビジネスプロセスモデル調査において検討の対象となっていた加工食品や日用雑貨品を考えた場合、多くの定番取引では、小売企業から見た場合に「店舗 + 商品」にて発注先が決まることが多いため。)

2.2.2 物流業務

物流業務とは、受発注で確定した取引の内容を基に、実際の商品の移動を行い、その結果を確認するまでの業務を指す。本基本設計では、物流業務の中で、出荷/入荷のために必要な情報の送受信、出荷/入荷結果の確定、確定情報の送受信を検討の対象とする。(在庫管理や在庫引当業務、検品業務等は対象外である。)

これは、さらに次のような処理に分類することができる。

- ・ 出荷準備処理：出荷拠点が出荷指示情報を受け取り、それを確認し、商品を入荷拠点に対して出荷するまでの業務に関連する処理。
- ・ 入荷準備処理：入荷拠点が入荷予定情報を受け取り、それを確認し、商品を受領するまでの業務に関連する処理。
- ・ 出荷処理：商品の出荷確定を行い、過去の出荷履歴を参照する業務に関連する処理。
- ・ 入荷処理：商品を受領し、入荷を確定し、過去の入荷履歴を参照する業務に関連する処理。

2.2.3 決済業務

決済業務とは、受発注により発生した債権債務に関して、発注者受注者間で内容を確認、確定する業務を指す。

これは、さらに次のような処理に分類することができる。

- ・ 仕入確定処理：受注者及び発注者の間で、日々の商品の出荷/入荷を確定させる業務に関連する処理。出荷/入荷商品の種類や個数について、両者の間の違算を調整する業務を含む。
- ・ 支払確定処理：受注者及び発注者の間で、月々の取引額を確定させる業務に関連する処理。請求額/支払額について、両者の間の違算を調整する業務を含む。

2.2.4 商品マスタ管理業務

商品マスタ管理業務とは、商品仕様である商品基本情報や、個々の受発注の前提として発注者、受注者、入荷拠点、出荷拠点の4者の間で合意した取引条件に関する関係依存情報を格納した、商品マスタを交換する業務を指す。

2.2.5 POS 売上データ交換業務

POS 売上データ交換業務とは、発注者である小売企業の各店舗の POS の売上データを、発注者から受注者である卸企業(又はメーカー)に対して送信する業務を指す。

本基本設計においては、本業務について POS 売上データを表現する JEDICOS-XML データ(ファイル)を送受信する部分を検討の対象とする。

2.2.6 在庫データ交換業務

在庫データ交換業務とは、発注者、受注者、入荷拠点、出荷拠点の 4 者の間で、おのあの在庫データを送受信する業務を指す。

本基本設計においては、本業務について在庫データを表現する JEDICOS-XML データ(ファイル)を送受信する部分を検討の対象とする。

2.2.7 特売企画データ交換業務

特売企画データ交換業務とは、発注者と受注者との間で取り決められた特売に関する企画情報のデータを、相互に送受信する業務を指す。

本基本設計においては、本業務について特売企画データを表現する JEDICOS-XML データ(ファイル)を送受信する部分を検討の対象とする。

3. ユースケース図

本基本設計にて検討するユースケース図の一覧を、次に示す。

表 3.1 ユースケース一覧

ユースケース図番号	対象業務
UC01	定番受発注業務
UC02	出荷準備・出荷業務
UC03	入荷準備・入荷業務
UC04	仕入確定業務
UC05	支払確定業務
UC06	商品マスタ管理業務
UC07	POS 売上データ交換業務
UC08	在庫データ交換業務
UC09	特売企画データ交換業務

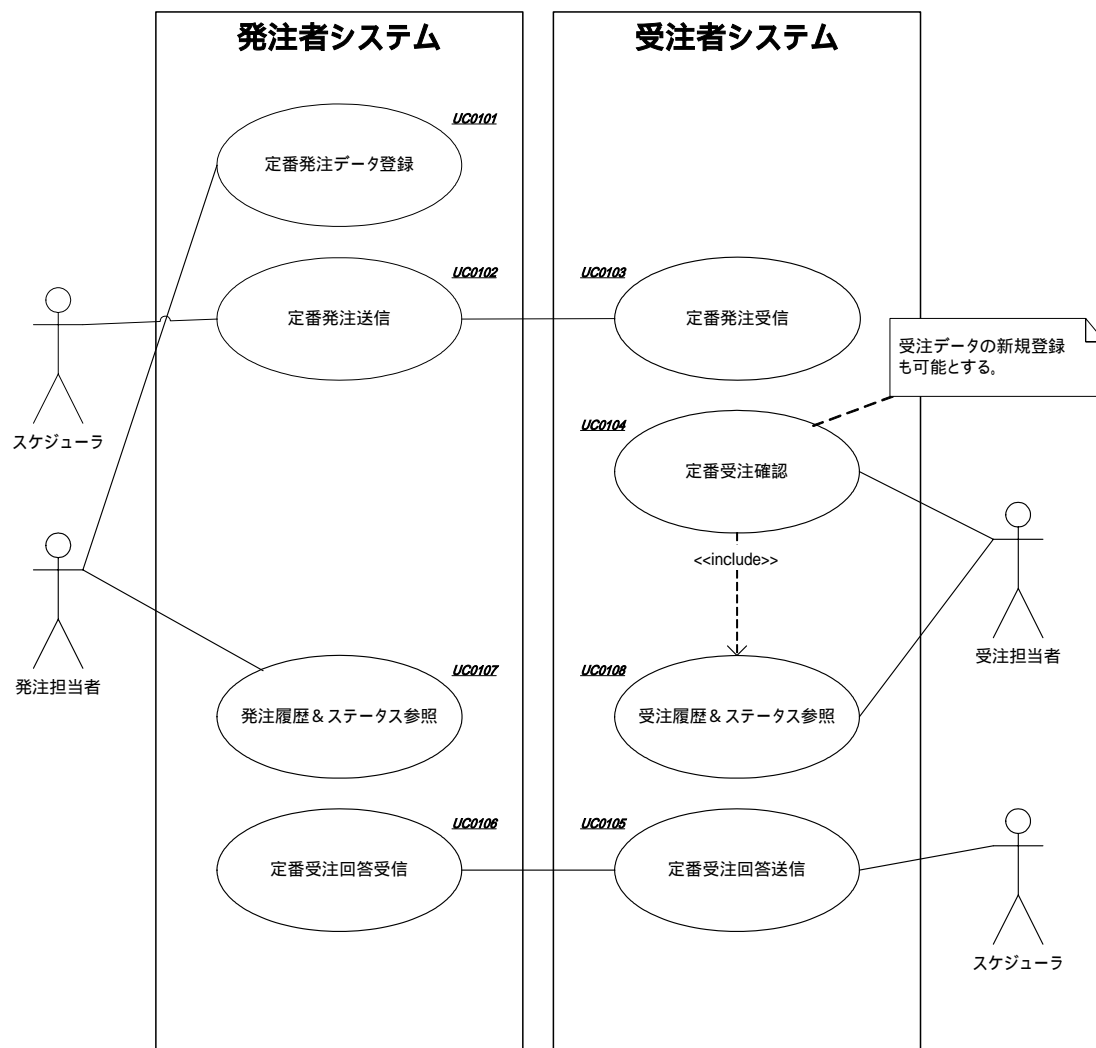
3.1 定番受発注(UC01)

01. 定番受発注

【概要】

事前に作成された店舗ごとの定番商品構成(オーダーブック)を元に、発注担当者(本部/店舗)が発注データを作成する。
登録された発注データは、事前に定義された締め時刻(商品ごとに設定)に従い、受注者側に送信される。
受注担当者は、必要であれば受け取った発注データを確認する。
受注回答が必要な場合(事前に定義された取引パターンで判別する)は、受注回答を発注者側に送信する。

その他、必要に応じて受発注履歴を確認する。



3.2 出荷準備・出荷(UC02)

02_出荷準備・出荷(1)

【概要】

(出荷準備)

発注者システム、受注者システムが自動的に、出荷準備のために出荷予定通知を送信し、出荷拠点システムがそれを受け取る。

(パターン1: 発注者通知パターン)

発注者システムが出荷予定通知を送信する。

(パターン2: 受注者通知パターン)

受注者システムが出荷予定通知を送信する。

(出荷)

出荷拠点システムが自動的に、出荷確定情報を受注者システム、発注者システムに送信する。

(パターン1: 発注者向け通知パターン)

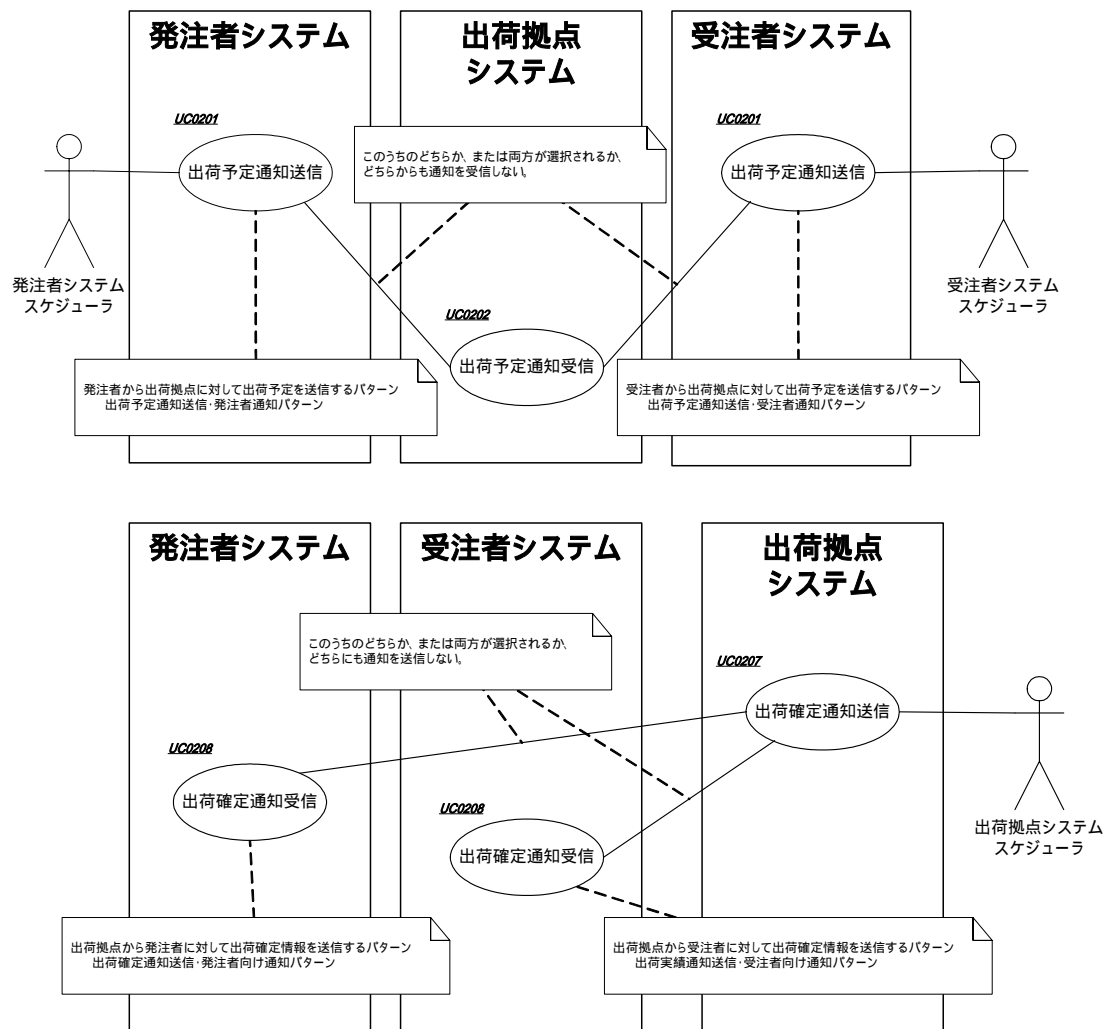
出荷拠点システムが発注者システムに出荷確定通知を送信する。

(パターン2: 受注者向け通知パターン)

出荷拠点システムが受注者システムに出荷確定通知を送信する。

出荷予定: 出荷予定通知として出荷拠点システムが受信する情報。

出荷確定: 出荷予定を元に実施した出荷拠点からの出荷に関する情報。



3.3 入荷準備・入荷(UC03)

03.入荷準備・入荷(1)

【概要】

(入荷準備)

入荷拠点システムは、発注者システム、出荷拠点システムが送信した入荷予定通知を受け取る。

(パターン1:発注者通知パターン)

発注者システムが入荷予定通知を送信する。

(パターン2:受注者通知パターン)

受注者システムが入荷予定通知を送信する。

(パターン3:出荷拠点通知パターン)

出荷拠点システムが入荷予定通知を送信する。

(入荷)

入荷拠点システムが自動的に、入荷確定情報を発注者システム、受注者システムに送信する。

(パターン1:発注者向け通知パターン)

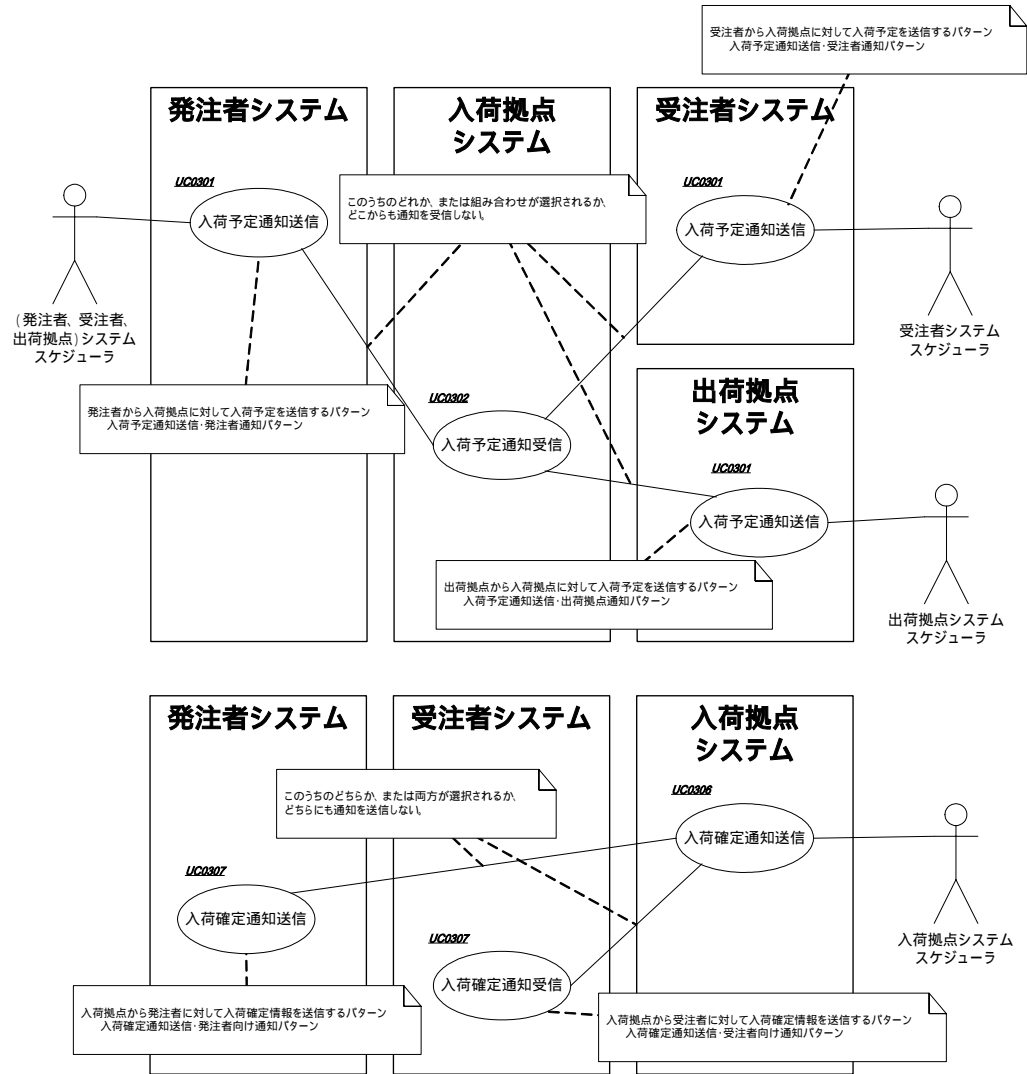
入荷拠点システムが発注者システムに入荷確定通知を送信する。

(パターン2:受注者向け通知パターン)

入荷拠点システムが受注者システムに入荷確定通知を送信する。

入荷予定:入荷予定通知として出荷拠点システムから入荷拠点システムに送信する情報。

入荷確定:入荷拠点での検品結果を元に確定した入荷に関する情報。



3.4 仕入確定(UC04)

04_仕入確定

【概要】

(パターン1: 仕入通知のみ)

発注担当者は、仕入計上されたデータに問題がない事を仕入通知の締め時刻までに確認する。
 発注者システムは、締め時刻になったら仕入通知を受注者システムに送付する。
 受注担当者は、仕入通知の内容と出荷実績の内容を突き合わせチェックする。
 突き合わせチェックの結果差異があった場合には、発注担当者へ連絡し、発注側の仕入データを修正してもらうか、受注側の売上データを訂正する。
 発注側の仕入データを修正した場合には、仕入通知を再度送ってもらう。
 (以降、 差異が認められなくなるまで、 ~ を繰り返す)

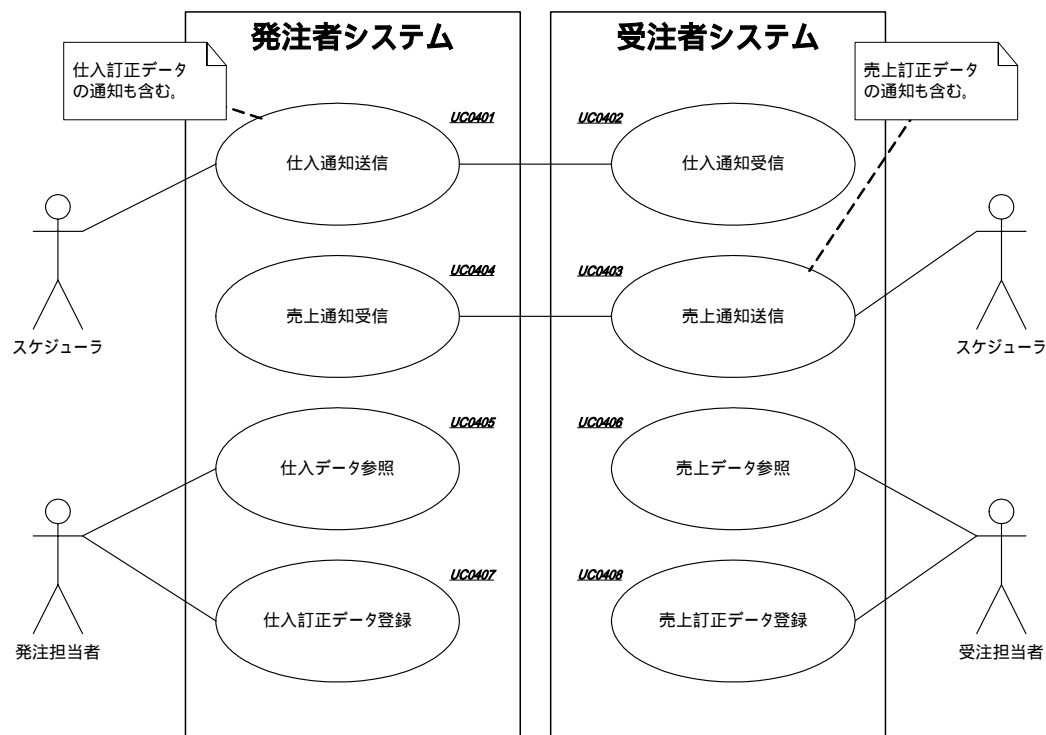
(パターン2: 売上通知のみ)

受注担当者は、売上計上されたデータに問題がない事を売上通知の締め時刻までに確認する。
 受注者システムは、締め時刻になったら売上通知を発注者システムに送付する。
 発注担当者は、売上通知の内容と入荷実績の内容を突き合わせチェックする。
 突き合わせチェックの結果差異があった場合には、受注担当者へ連絡し、受注側の売上データを修正してもらうか、発注側の仕入データを訂正する。
 受注側の売上データを修正した場合には、売上通知を再度送ってもらう。
 (以降、 差異が認められなくなるまで、 ~ を繰り返す)

(パターン3: 仕入通知 & 売上通知)

発注担当者は、仕入計上されたデータに問題がない事を仕入通知の締め時刻までに確認する。
 発注者システムは、締め時刻になったら仕入通知を受注者システムに送付する。
 受注担当者は、仕入通知の内容と出荷実績の内容を突き合わせチェックする。
 突き合わせチェックの結果差異があった場合には、発注担当者へ連絡し、発注側の仕入データを修正してもらうか、受注側の売上データを訂正する。
 発注側の仕入データを修正した場合には、仕入通知を再度送ってもらう。
 (以降、 差異が認められなくなるまで、 ~ を繰り返す)
 確認のため、受注者システムから売上通知を発注者システムに送付する。

上記3パターンのいずれになるかは、事前に定めた取引条件により自動的に判別する。



3.5 支払確定(UC05)

05 支払確定

【概要】

(パターン1: 請求のみ)

請求担当者は、各売上データの締め処理を行い、請求データを作成する。

受注者システムは、締め時刻になったら請求通知を発注者システムに送付する。

支払担当者は、仕入データの内容を元に支払データを作成し、請求通知の内容との突き合わせチェックをする。

突き合わせチェックの結果差異があった場合には、請求担当者へ連絡し、受注側の請求データを修正してもらった場合、発注側の支払データを訂正する。
発注側の請求データを修正した場合には、請求通知を再度送ってもらう。

発注側の請求データを修正した場合には、請求通知を再度送ってもらう。

(以降、 で差異が認められなくなるまで、 ～ を繰り返す)

請求担当者/支払担当者は、それぞれ各売上データ/仕入データの内容を確定する。

(パターン2: 支払案内のみ)

支払担当者は、各仕入データの締め処理を行い、支払データを作成する。

発注者システムは、締め時刻になったら支払案内を受注者システムに送付する。

請求担当者は、売上データの内容を元に請求データを作成し、支払案内の内容との突き合わせチェックをする。

※支払担当は、発注側の内容が先に請求データを作成し、支払案内の内容との突き合わせを行う。
突き合わせチェックの結果差異があった場合には、支払担当へ連絡し、発注側の支払データを修正してもらうか、受注側の請求データを訂正する。
発注側の支払データを修正した場合には、支払案内を再度送ってもらう。

発注側の支払データを修正した場合には、支払案内を再度送ってもらう。

(以降、 で差異が認められなくなるまで、 ～ を繰り返す)

請求担当者/支払担当者は、それぞれ各売上データ/仕入データの内容を確定する。

(パターン3:請求&支払案内)

請求担当者は、各売上データの締め処理を行い、請求データを作成する。

受注者システムは、締め時刻になったら請求通知を発注者システムに送付する。

支払担当者は、仕入データの内容を元に支払データを作成し、請求通知の内容との突き合わせチェックをする。

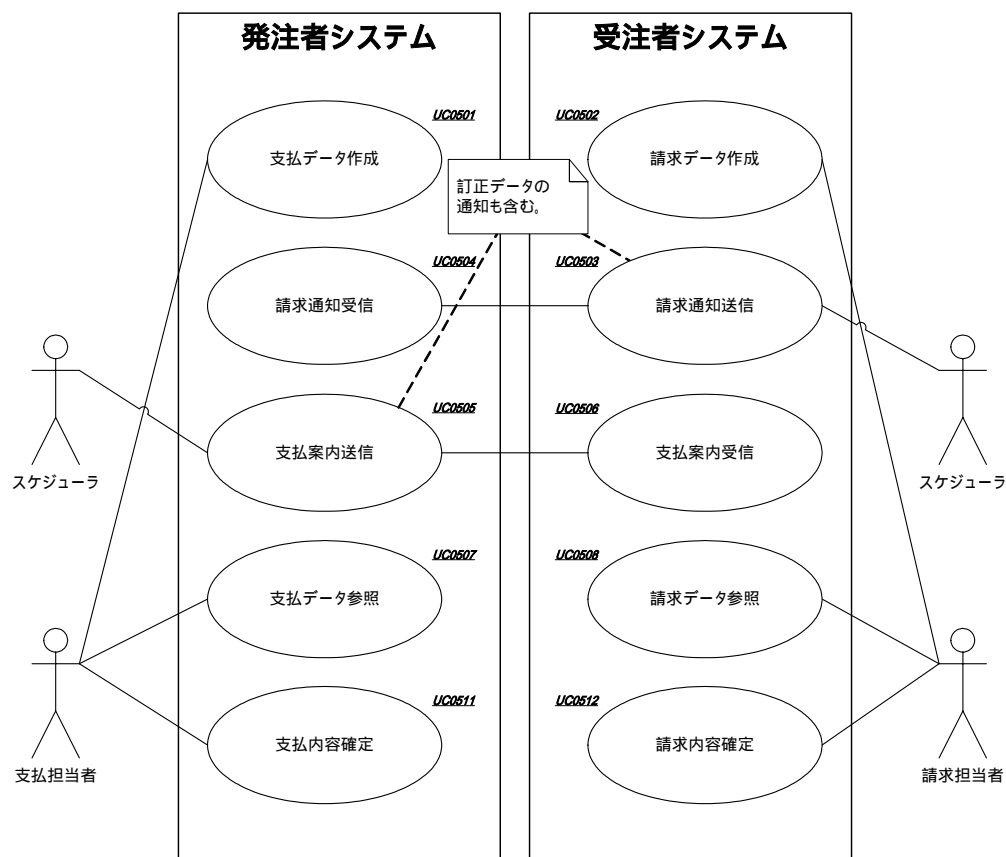
突き合った請求データの修正差異があった場合には、請求担当者へ連絡し、受注側の請求データを修正してもらうか、発注側の支払データを訂正する。

発注側の請求データを修正した場合には、請求通知を再度送ってもらう。

(以降、で差異が認められなくなるまで、～を繰り返す)

確認のため、発注者システムから支払案内データを受注者システムへ送付し、対象支払

上記3パターンのいずれになるかは、事前に定めた取引条件により自動的に判別する。



3.6 商品マスタ管理(UC06)

06.商品マスタ管理

【概要】

店舗別定番品揃えメンテナンスを除き、発注者、受注者、出荷拠点、入荷拠点の間で商品マスタに関する情報の交換がお互いに行え、自身のマスタの管理ができる。
ここでは、この4者を送信側と受信側として記述する。(ひとつのアクタが送信者と受信者を兼ねることはない。)

送信側(受信側)商品管理者は、各商品のマスタデータをシステムに登録する。

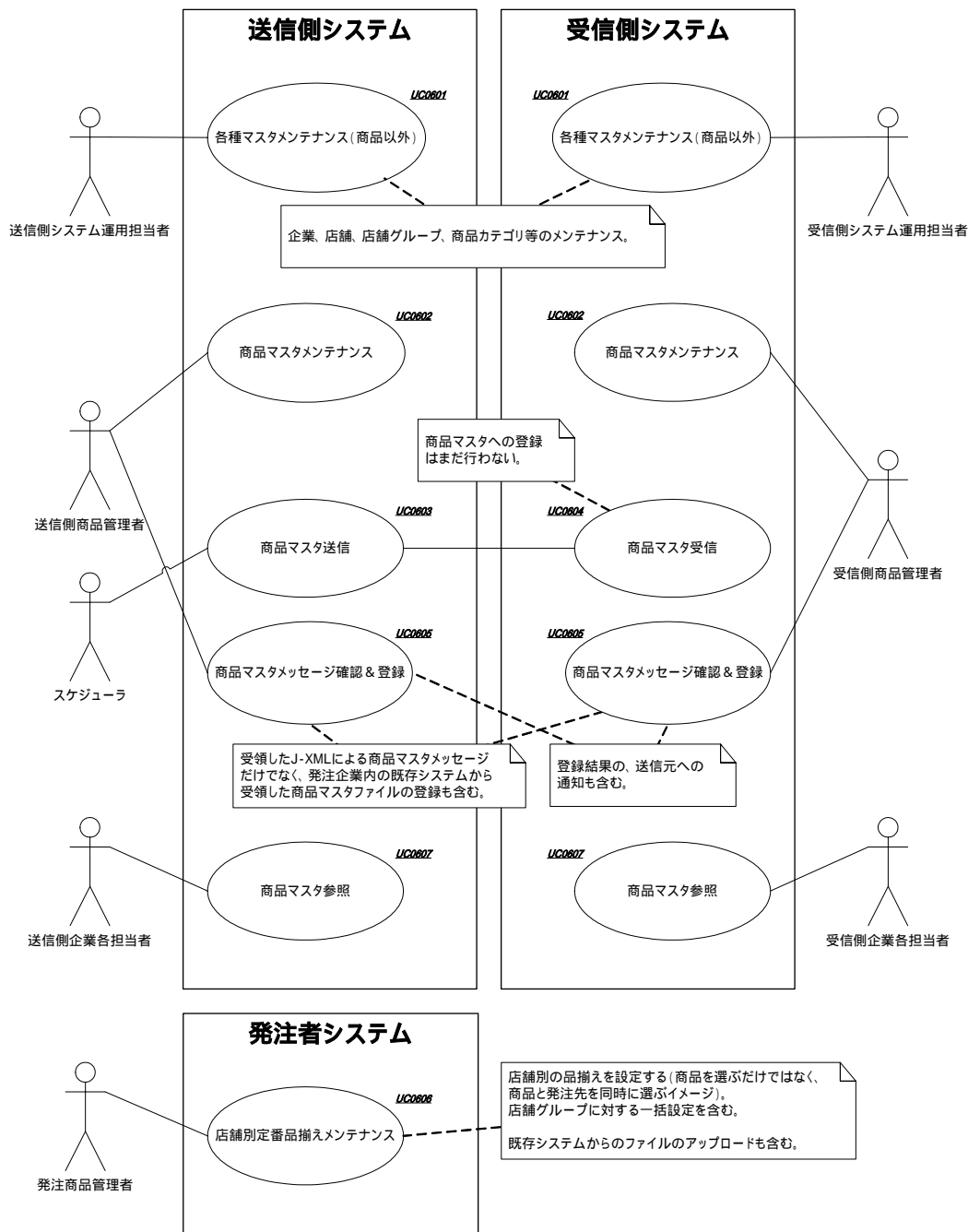
送信側システムは、設定したデータから商品マスタメッセージを生成し、受信側システムに対して送付する。

受信側商品管理者は、受信した商品マスタメッセージの内容を確認し、マスタに登録するかどうかの判断をした後、登録を実施する。

登録した結果は、送信側システムに対して通知される。

発注商品管理者は、各店舗別の定番品揃えを発注者システムに登録する。

上記のタイミング以外でも、適宜各マスタデータのメンテナンス、及び商品マスタの照会を実施する。



3.7 POS 売上データ交換(UC07)

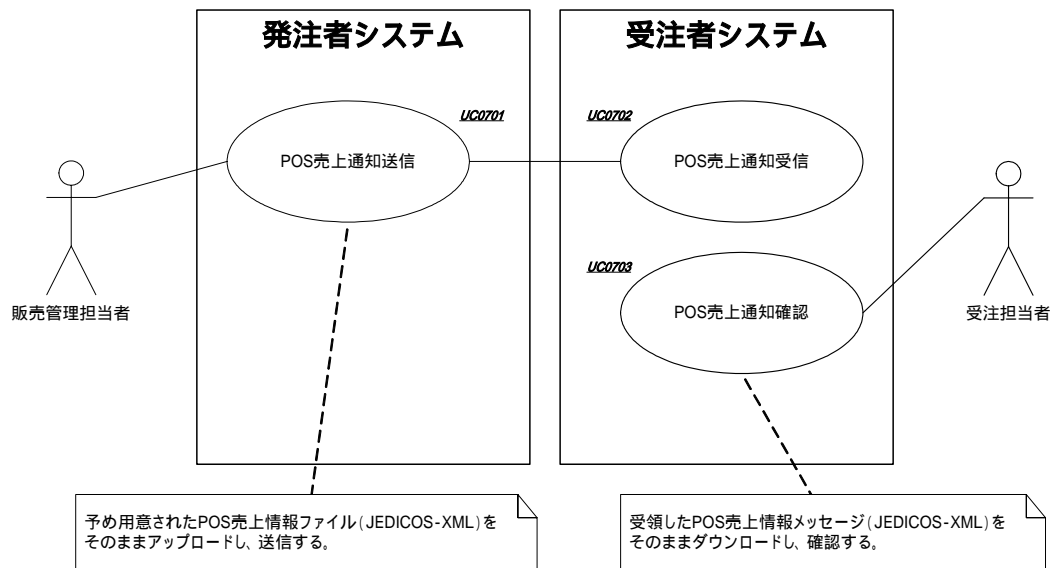
07.POS売上データ交換

【概要】

販売担当者は、予め用意しておいたPOSデータファイルを指定して、受注者システムへPOS売上情報メッセージの送信を行う。
受注担当者は、受信したPOS売上情報メッセージを確認する。

本来は、 の代わりに自動発注処理に流れるが、本システムではその部分は対象範囲とせず、メッセージを確認できるレベルで留めることとする。

メッセージの流れは、「発注者 受注者」の一本のみを想定(JEDICOS-XMLにおける前提)。
「小売店舗 小売本部」等の流れは考慮しない。



3.8 在庫データ交換(UC08)

08 在庫データ交換

【概要】

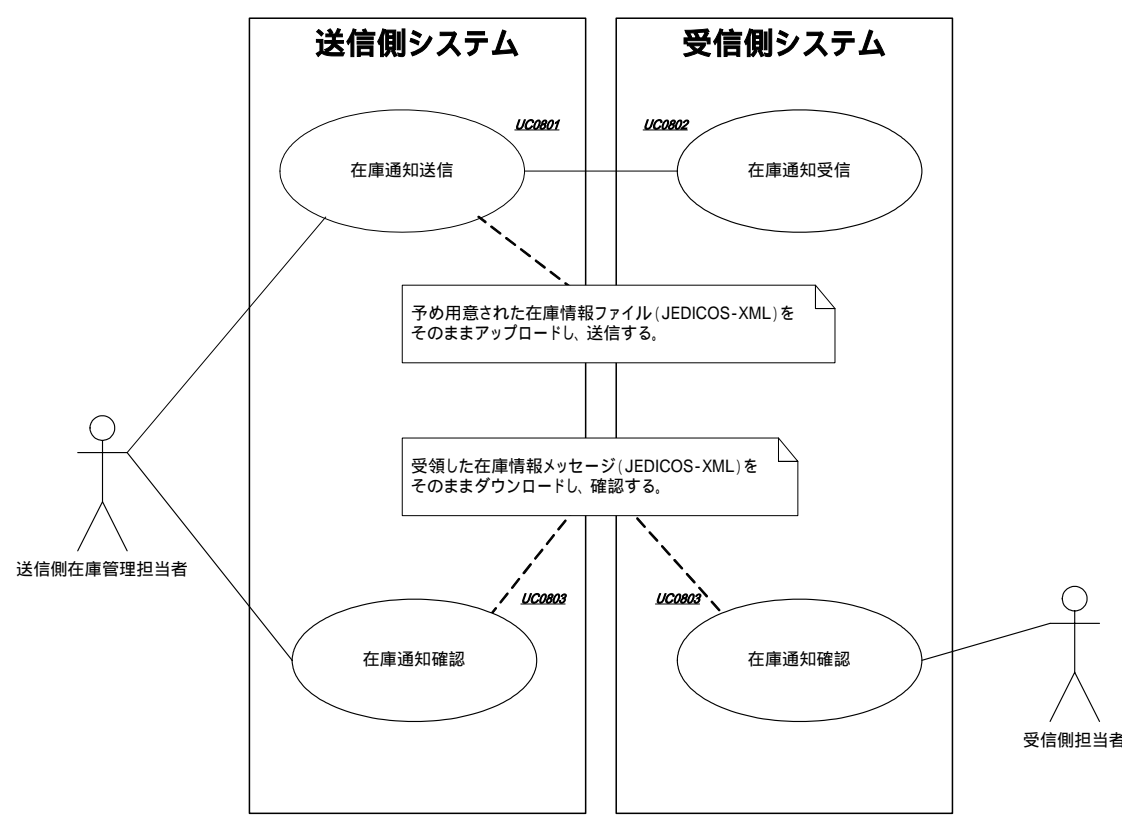
発注者、受注者、出荷拠点、入荷拠点の間で在庫に関する情報の交換が互いに行え、通知の確認が行える。

ここでは、この4者を送信者側と受信者側として記述する。(ひとつのアクタが送信者と受信者を兼ねることはできない。)

送信側在庫管理担当者は、予め用意しておいた在庫データファイルを指定して、受信側システムへ在庫メッセージの送信を行う。

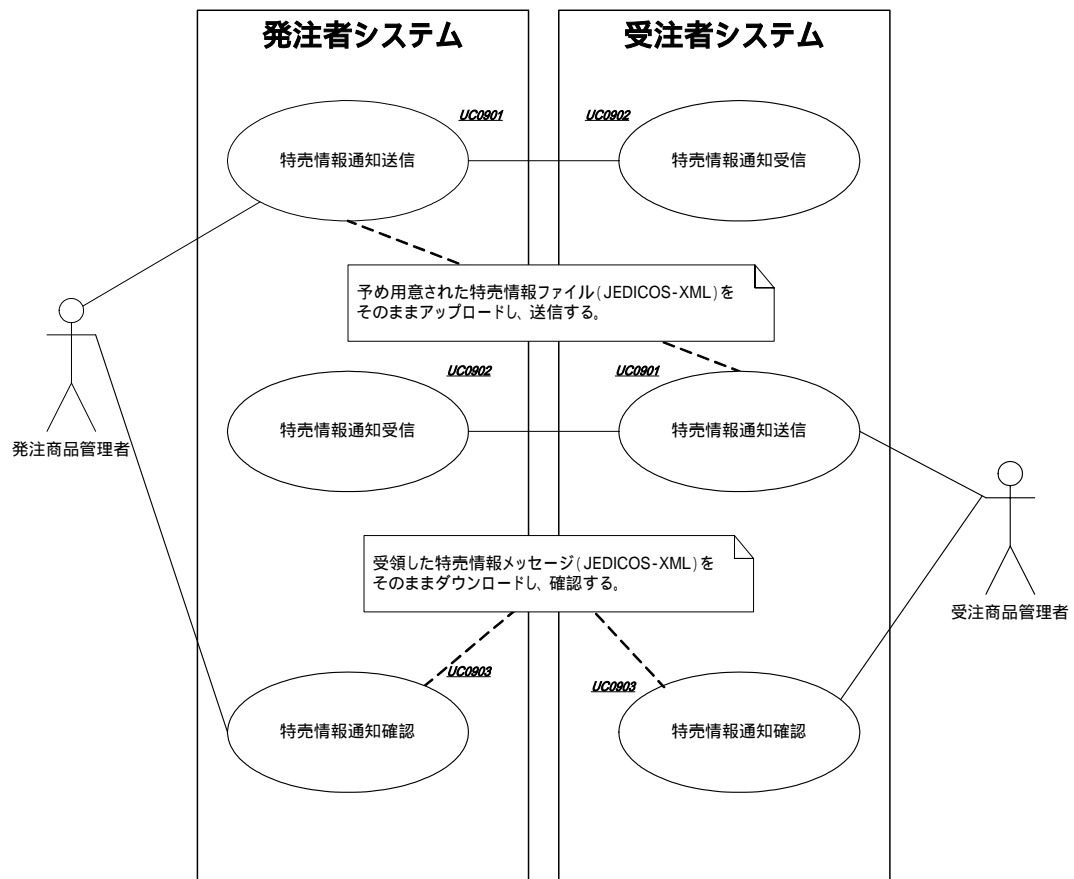
受信側担当者は、受信した在庫メッセージを確認する。

本来は、 の代わりに自動発注処理に流れるが、本システムではその部分は対象範囲とせず、メッセージを確認できるレベルで留めることとする。



3.9 特売企画データ交換(UC09)

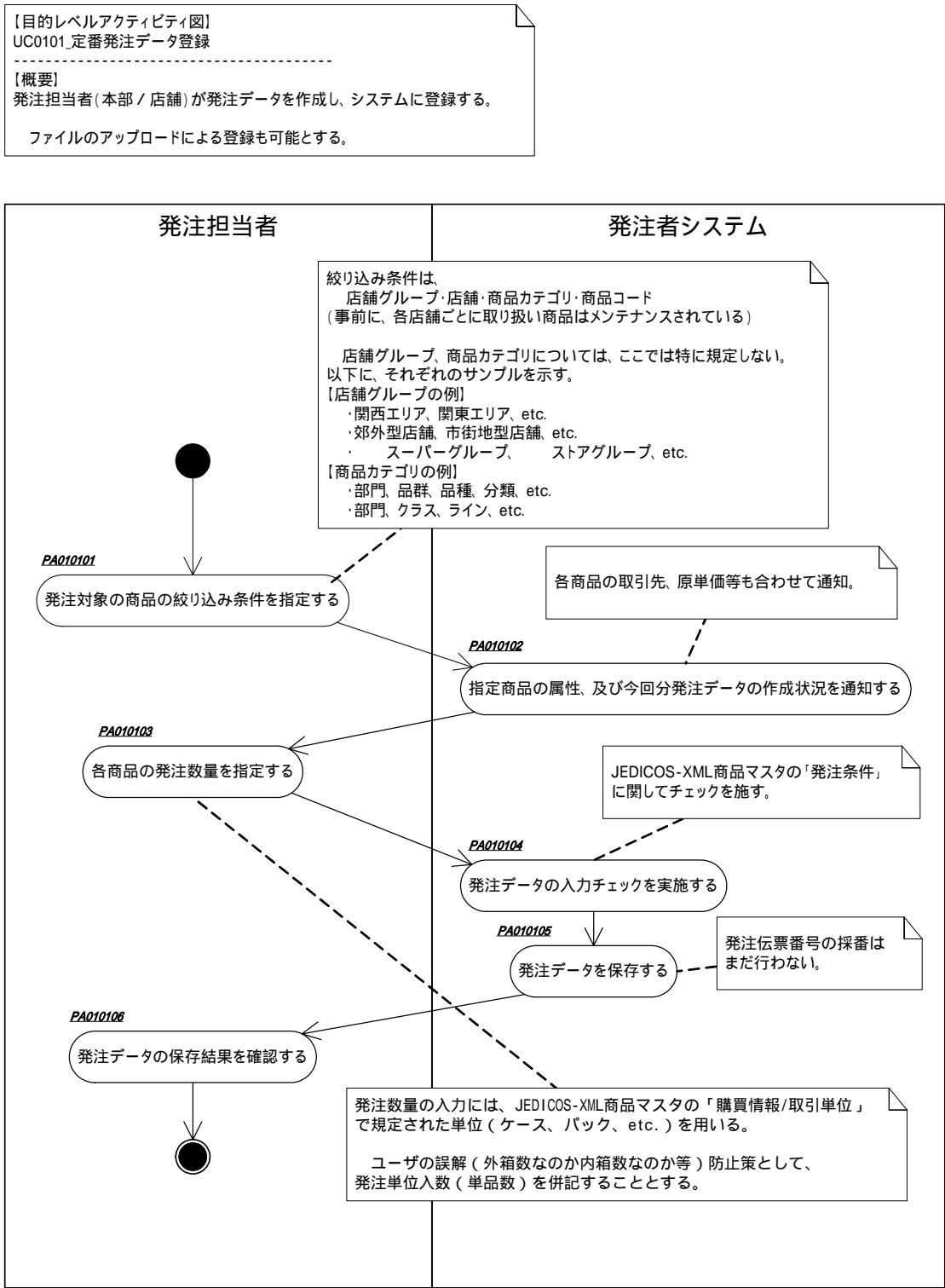
<p>09.特売企画データ交換</p> <p>-----</p> <p>【概要】</p> <p>発注商品管理者(受注商品管理者)は、予め用意しておいた特売企画データファイルを指定して、受注者システム(発注者システム)へ特売情報メッセージの送信を行う。</p> <p>発注商品管理者(受注商品管理者)は、受信した特売情報メッセージを確認する。</p>
--



4. 目的レベルアクティビティ図

4.1 定番受発注に関する目的レベルアクティビティ図

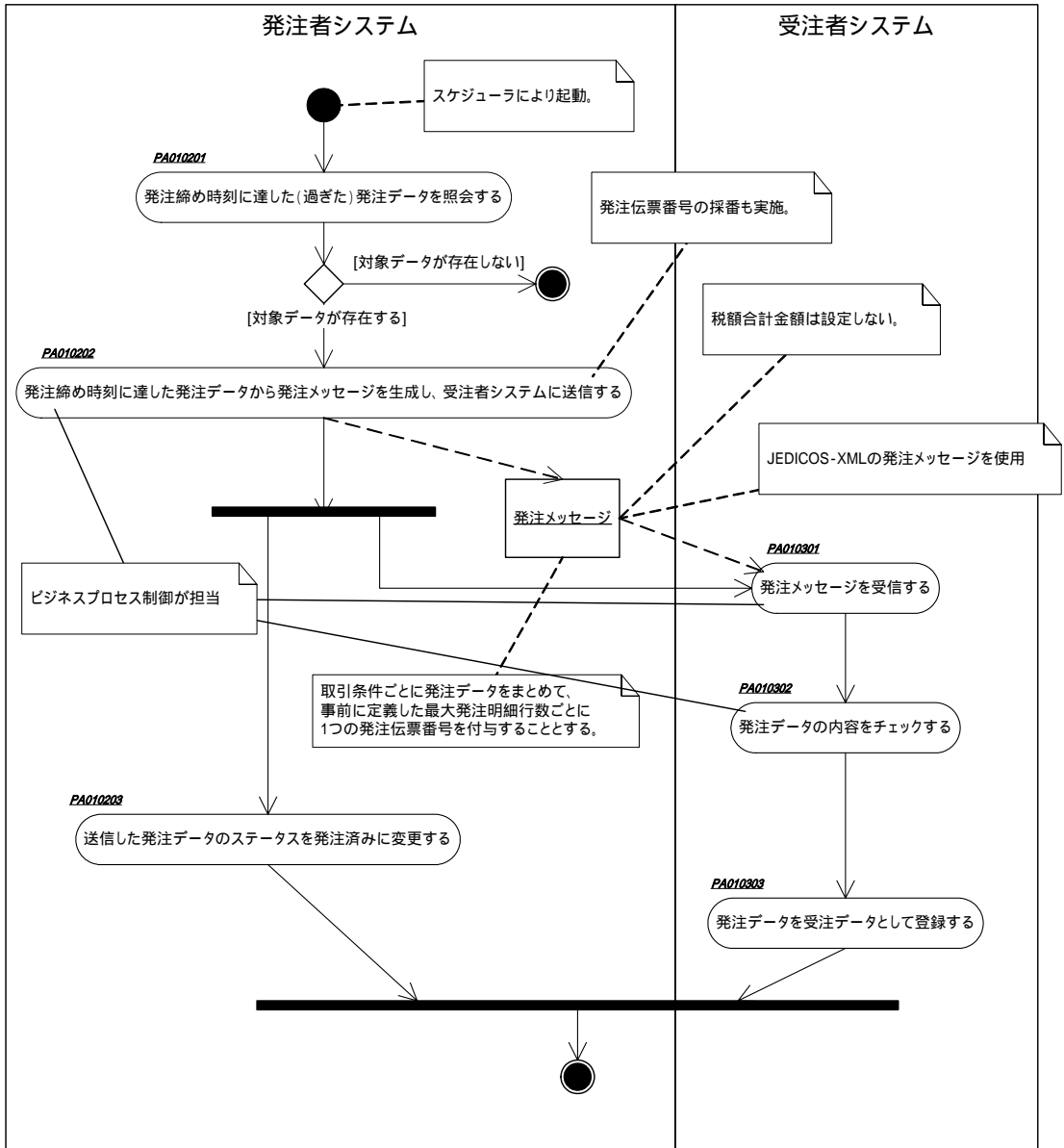
4.1.1 定番発注データ登録(UC0101)



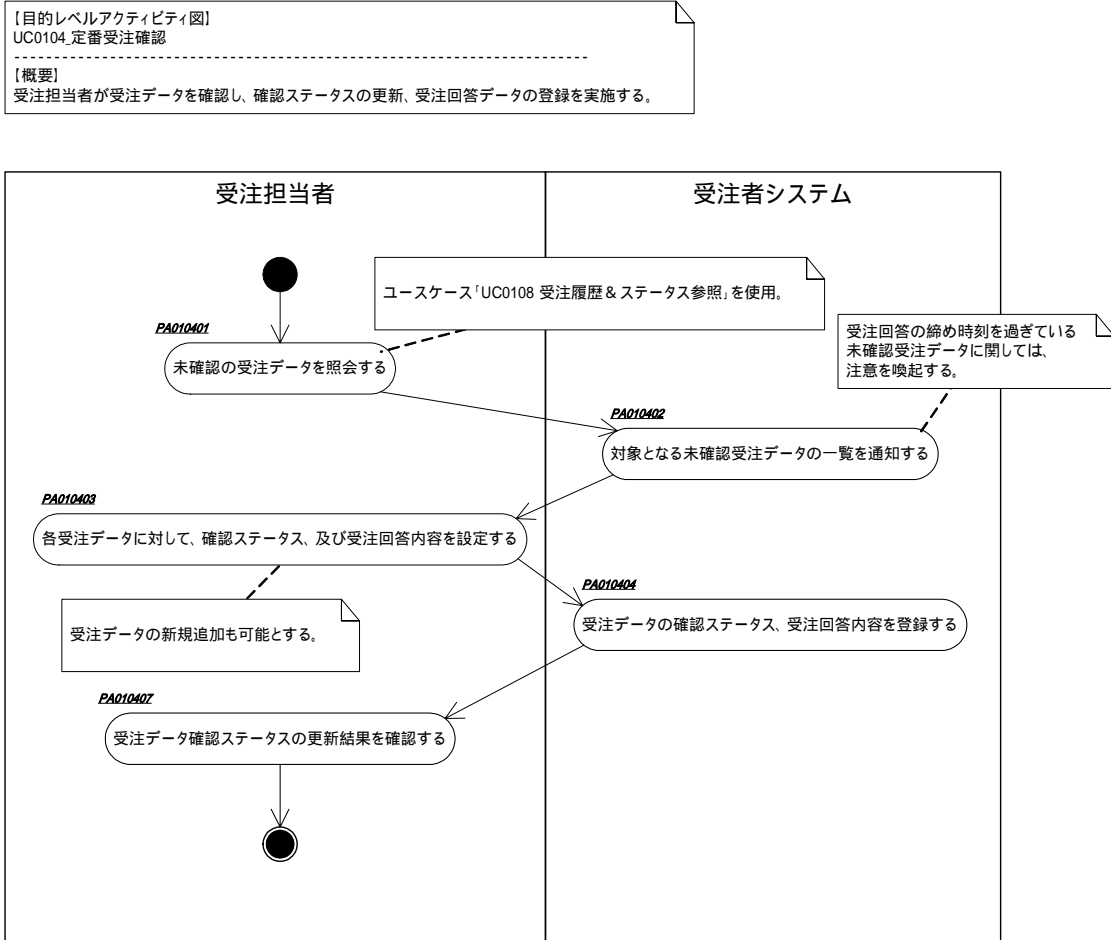
4.1.2 定番発注送信(UC0102)・定番発注受信(UC0103)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0102_定番発注送信・UC0103_定番発注受信

【概要】
発注者システムが、それぞれの発注締め時刻のタイミングで、当締め時刻での発注対象となる発注データを受注者システムに送信する。
受注者システムは、受け取ったデータを受注データとして、システム内に保存する。



4.1.3 定番受注確認(UC0104)



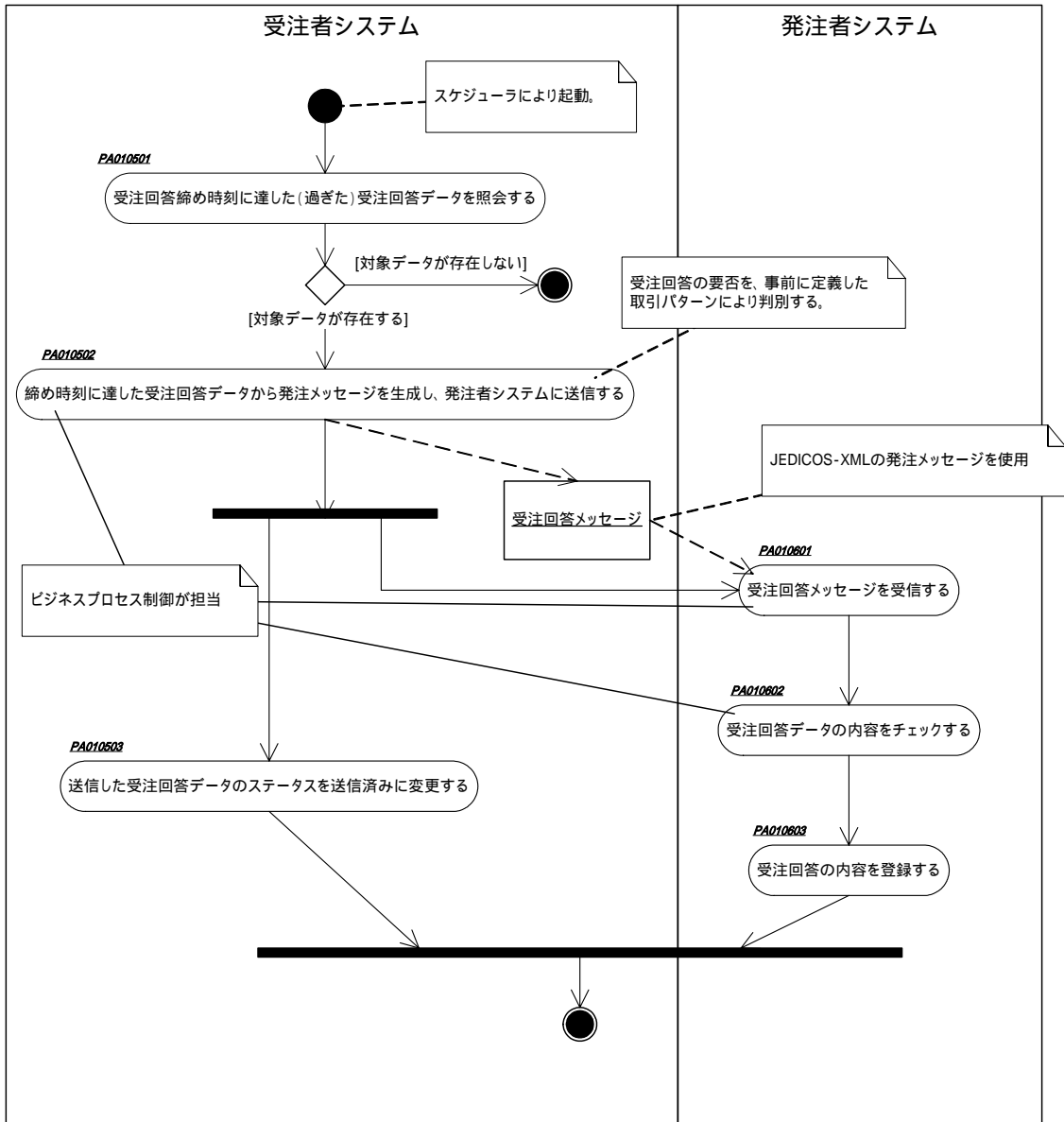
4.1.4 定番受注回答送信(UC0105)・定番受注回答受信(UC0106)

【目的レベルアクティビティ図】

UC0105_定番受注回答送信・UC0106_定番受注回答受信

【概要】

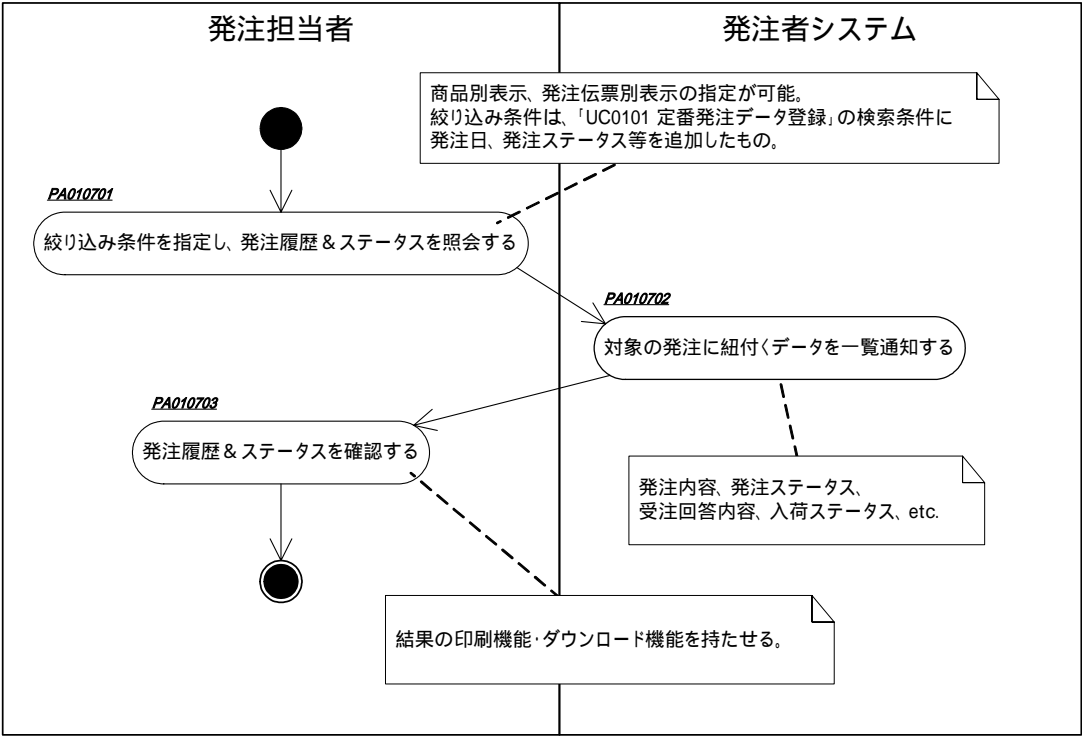
受注者システムが、それぞれの受注回答締め時刻のタイミングで、当締め時刻での対象となる受注回答データを発注者システムに送信する。発注者システムは、受け取った受注回答データをシステム内に保存する。



4.1.5 発注履歴&ステータス参照(UC0107)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0107_発注履歴&ステータス参照

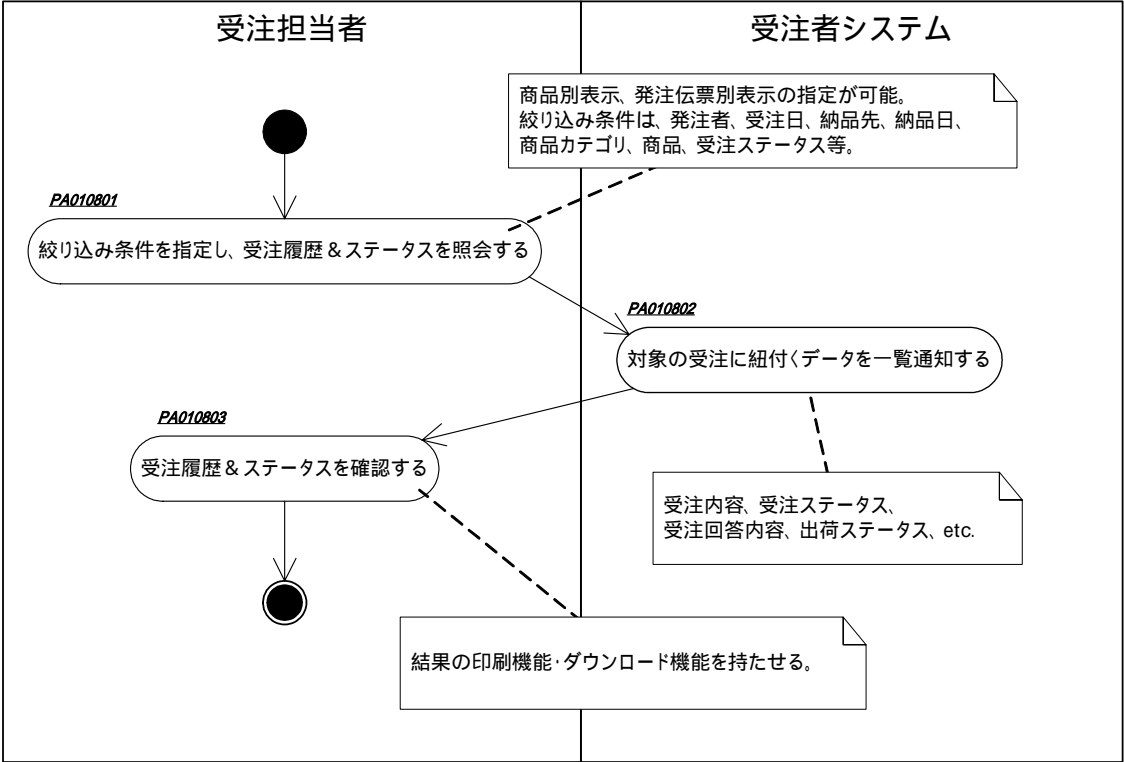
【概要】
発注担当者(本部 / 店舗)が、今までの発注履歴、及び発注に紐付く業務のステータス(入荷状況等)を照会する。



4.1.6 受注履歴&ステータス参照(UC0108)

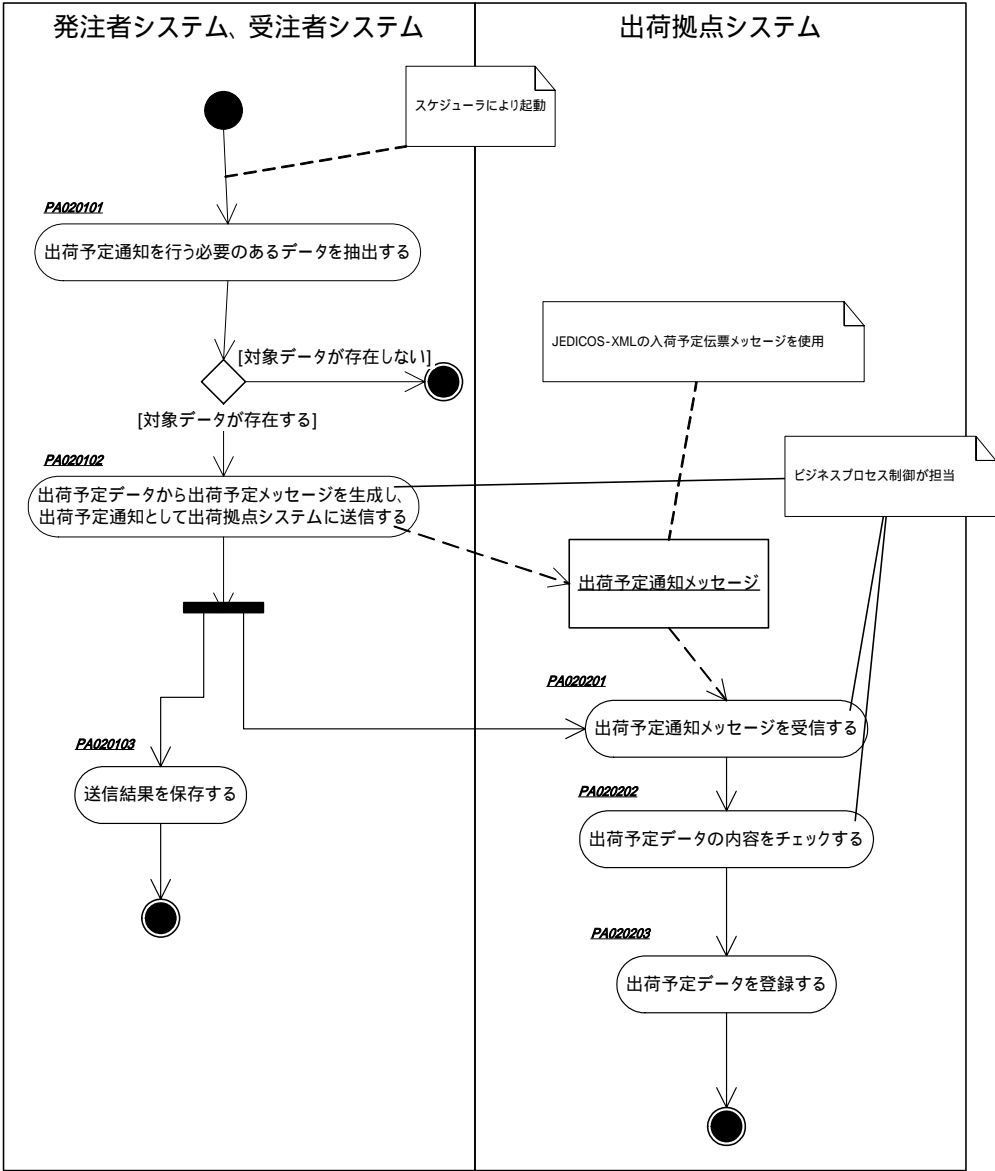
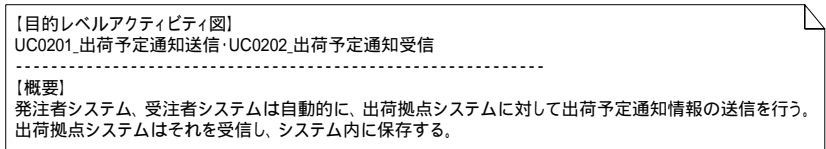
【目的レベルアクティビティ図】
UC0108_受注履歴&ステータス参照

【概要】
受注担当者が、今までの受注履歴、及び受注に紐付く業務のステータス(出荷状況等)を照会する。



4.2 出荷準備、出荷に関する目的レベルアクティビティ図

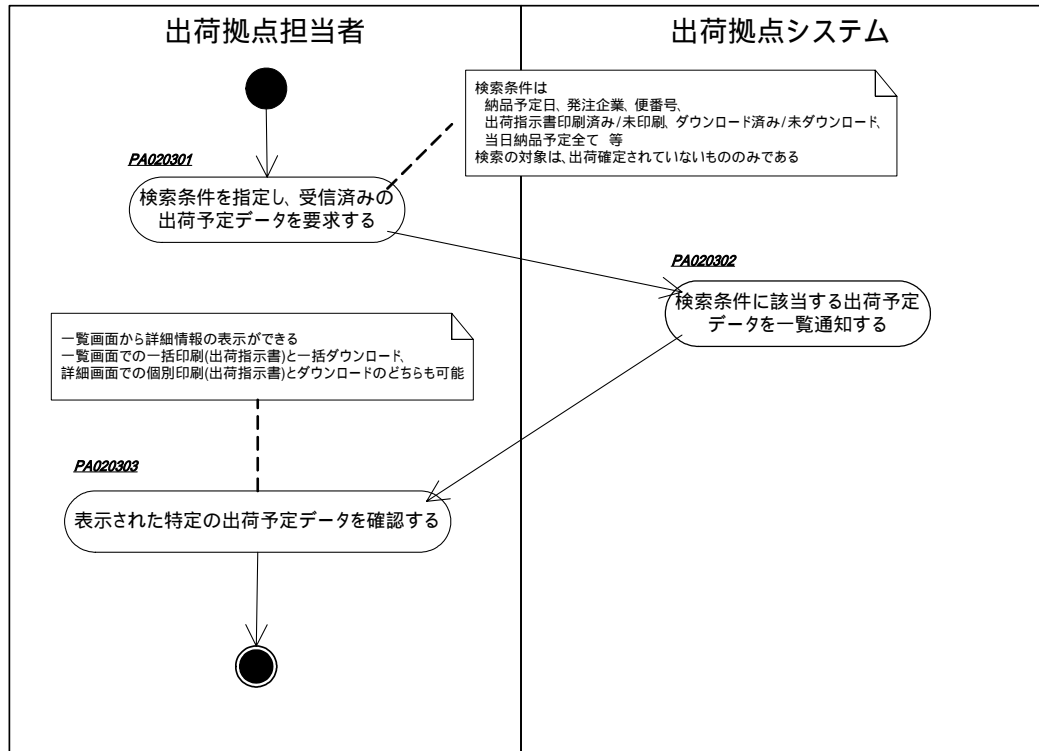
4.2.1 出荷予定通知送信(UC0201)・出荷予定通知受信(UC0202)



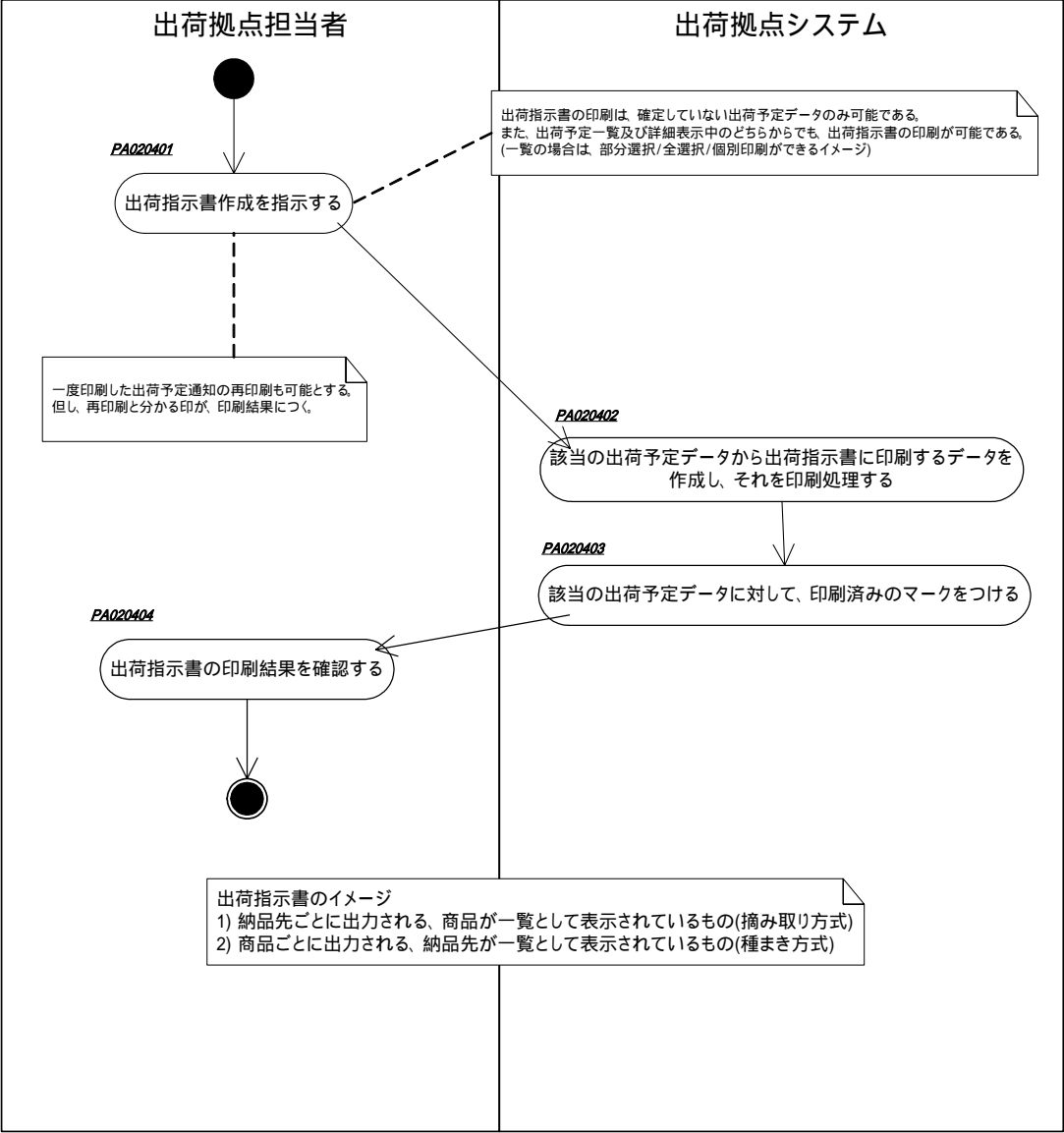
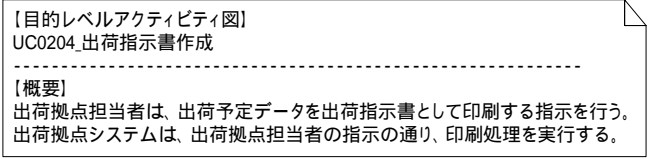
4.2.2 出荷予定参照(UC0203)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0203_出荷予定参照

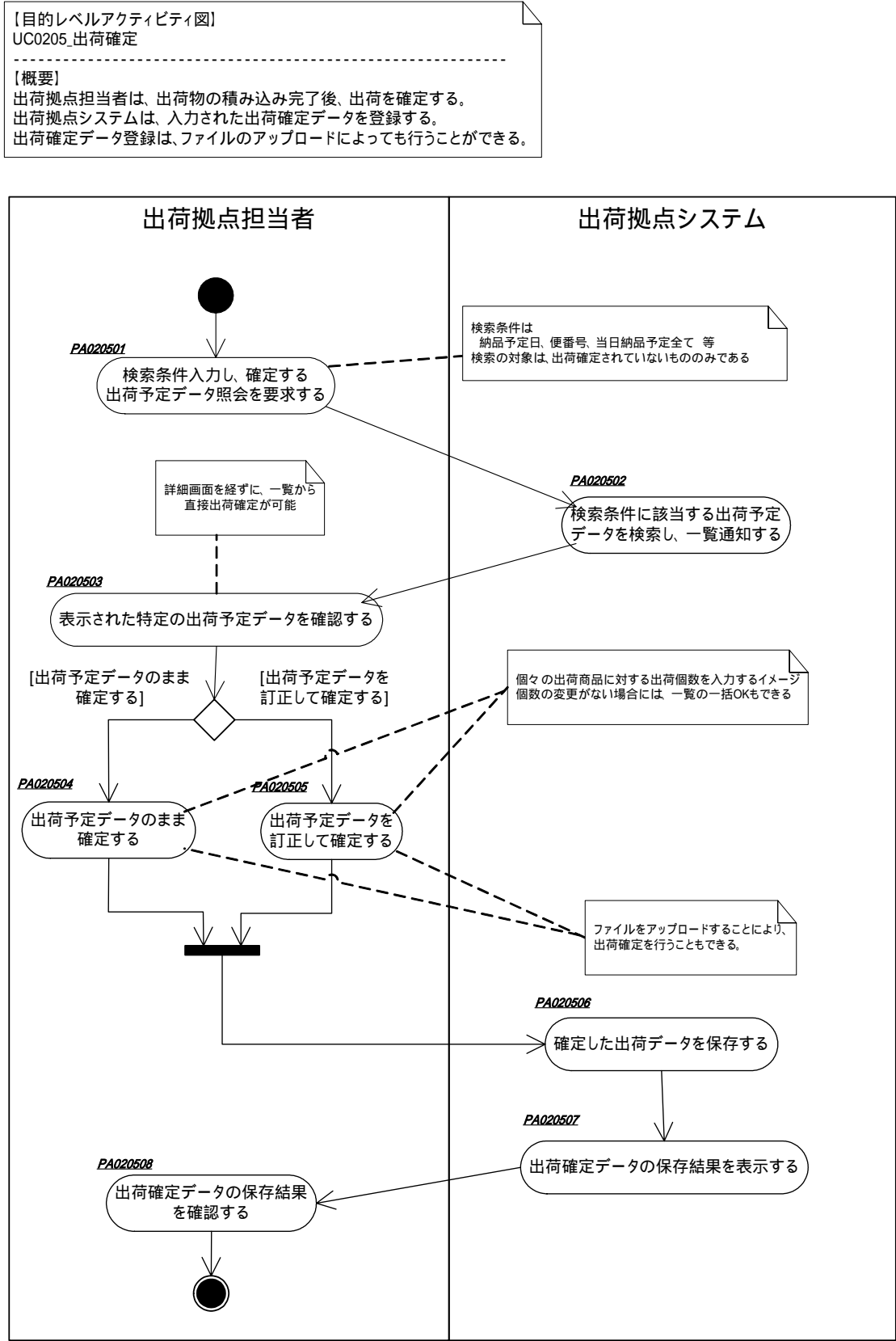
【概要】
出荷拠点担当者は、システムが受注者より受信済みの出荷予定データを検索し、詳細を確認する。
出荷拠点システムは、出荷拠点担当者の指示の通り、出荷予定データの検索処理、詳細表示処理を実行する。
ここでは、画面に表示されている出荷予定の情報をダウンロードしたり、出荷指示書の印刷したりすることができる。



4.2.3 出荷指示書作成(UC0204)



4.2.4 出荷確定(UC0205)

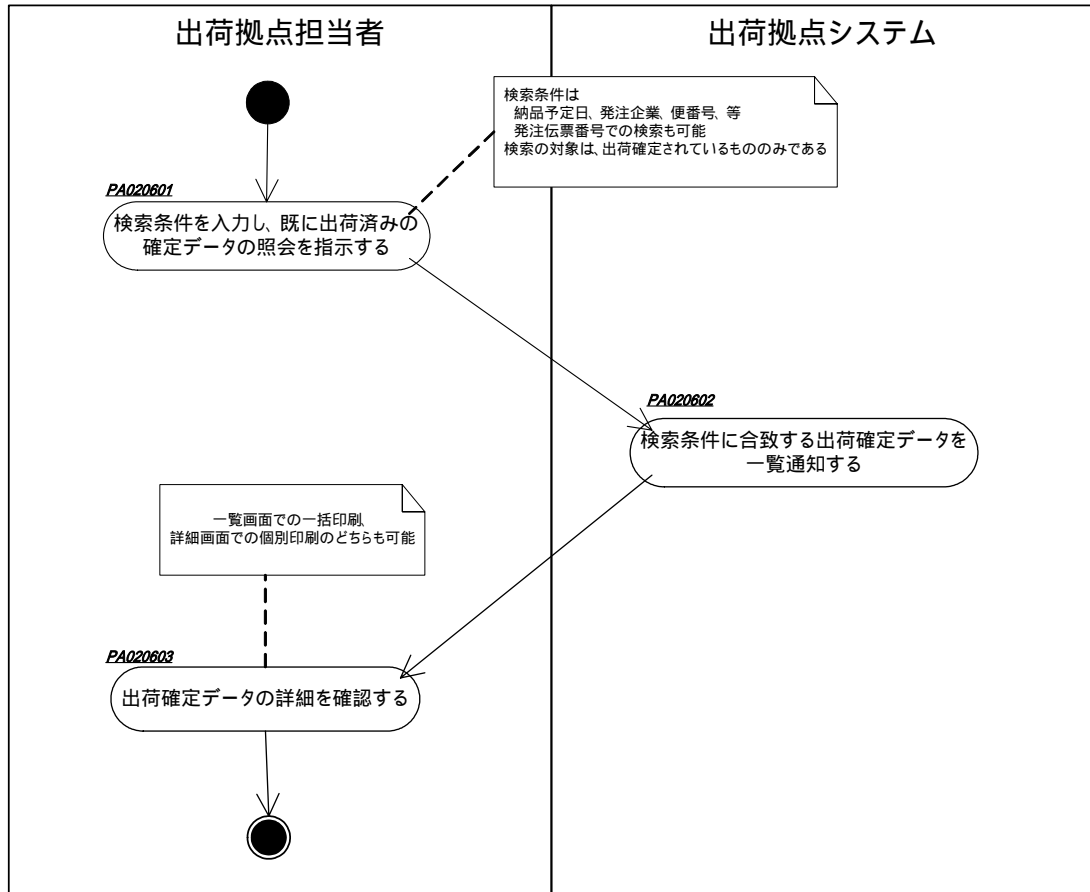


4.2.5 出荷履歴参照(UC0206)

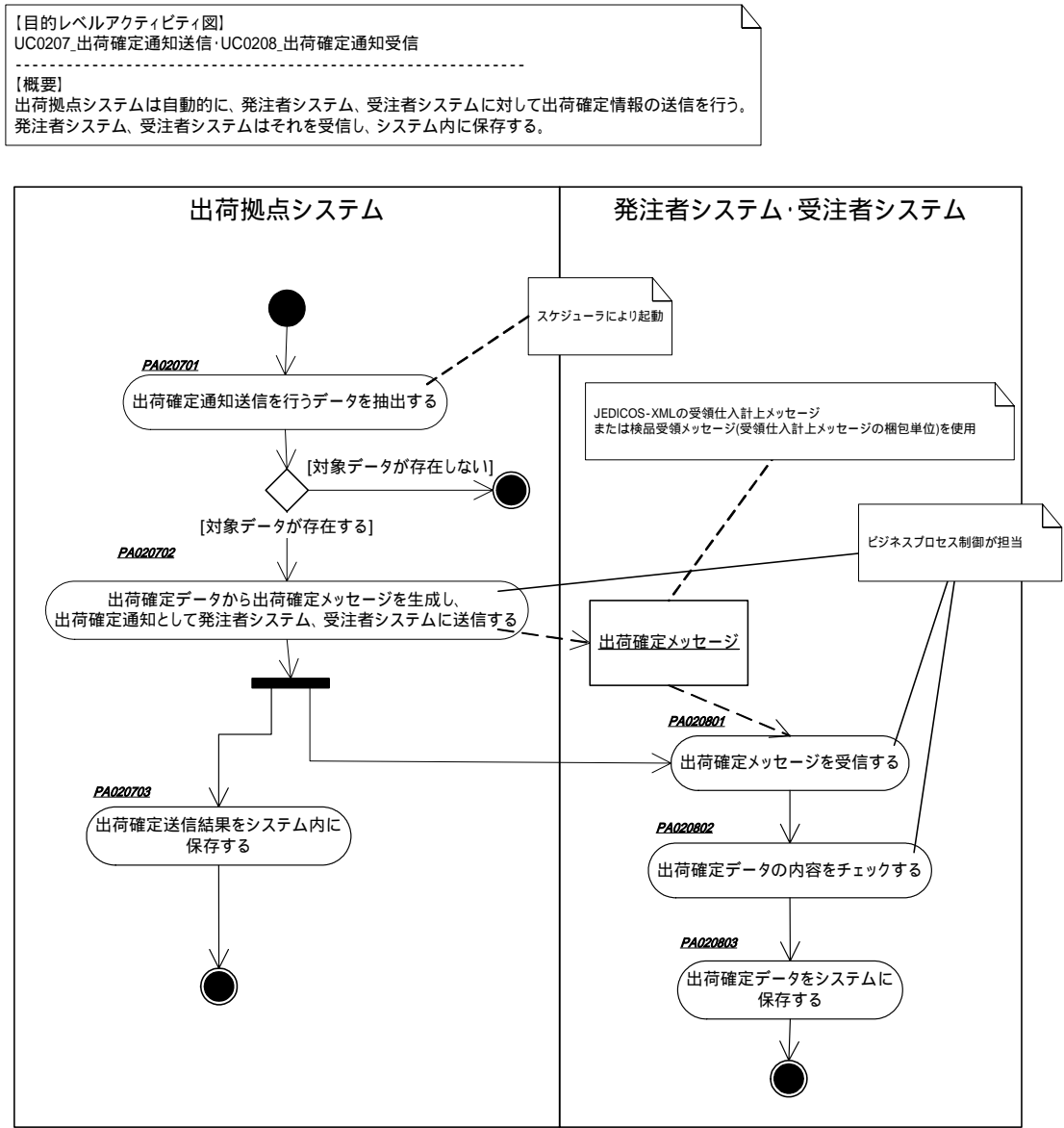
【目的レベルアクティビティ図】
UC0206_出荷履歴参照

【概要】

出荷拠点担当者は、過去の出荷確定データを検索、確認する。
出荷拠点システムは、検索条件に合致する出荷確定データの検索を実行し、詳細を表示する。
出荷履歴の情報は、ダウンロードすることができる。



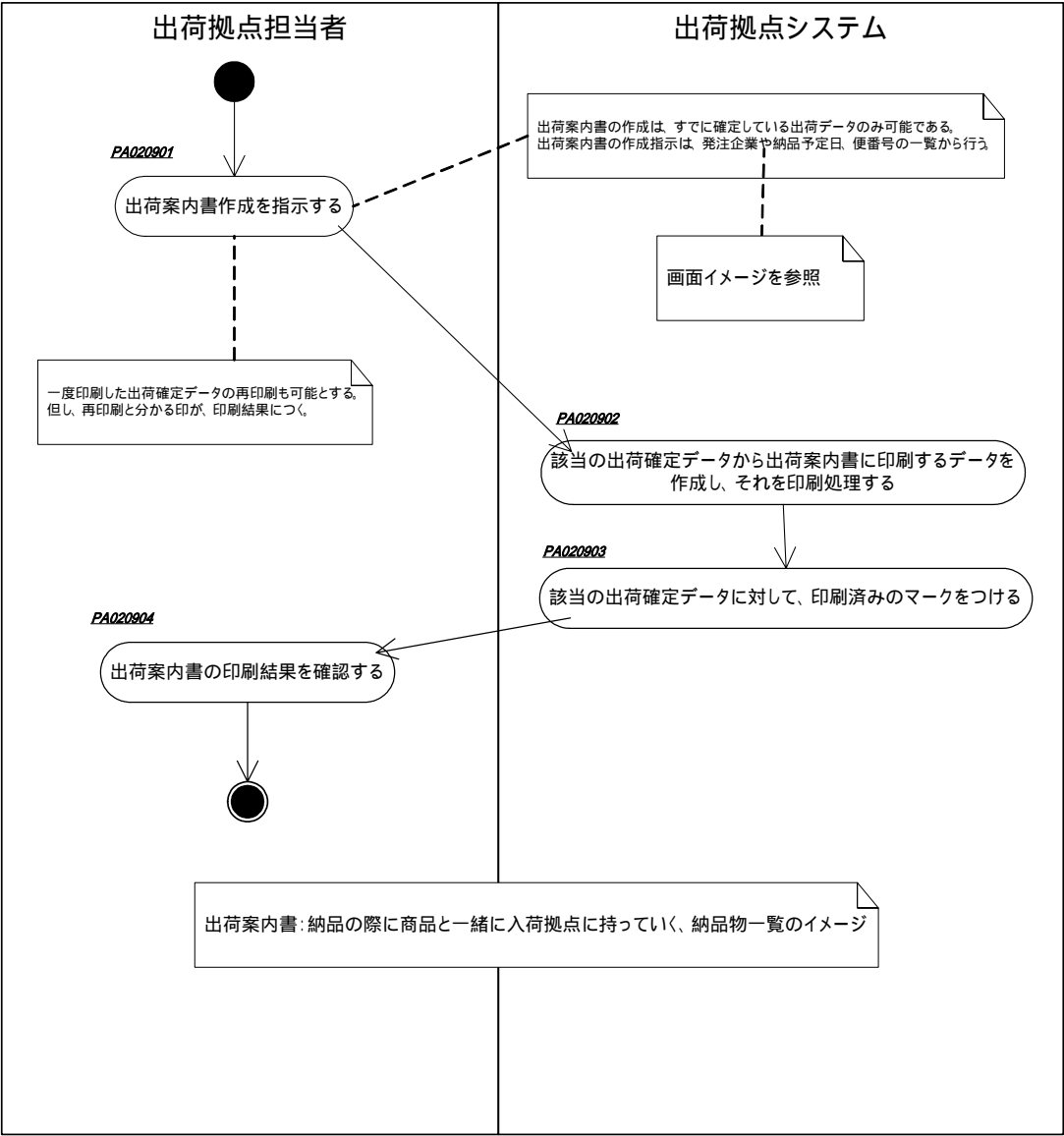
4.2.6 出荷確定通知送信(UC0207)・出荷確定通知受信(UC0208)



4.2.7 出荷案内書作成(UC0209)

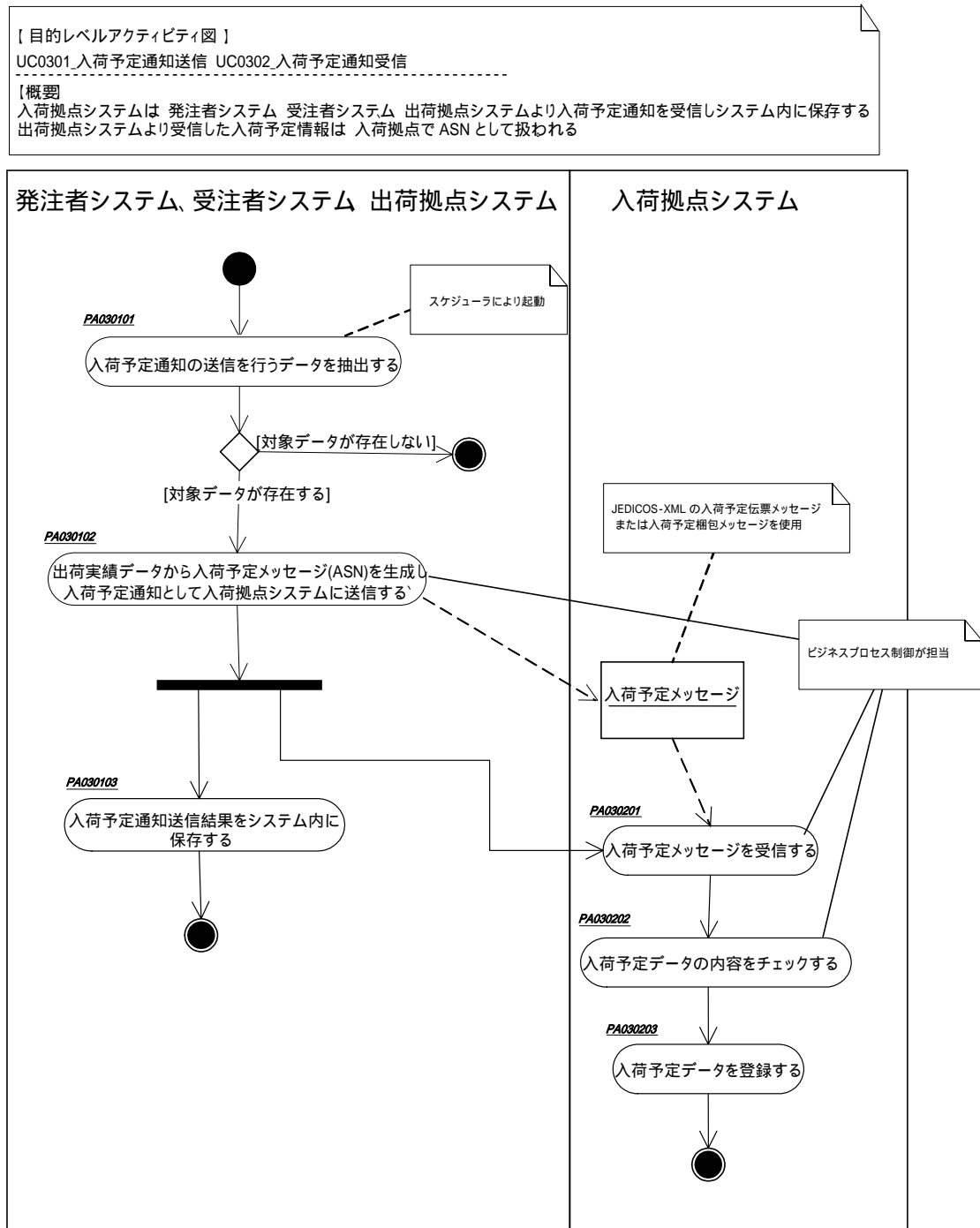
【目的レベルアクティビティ図】
UC0209_出荷案内書作成

【概要】
出荷拠点担当者は、出荷確定データを出荷案内書として作成する指示を行う。
出荷拠点システムは、出荷拠点担当者の指示の通り、作成処理を実行する。



4.3 入荷準備・入荷に関する目的レベルアクティビティ図

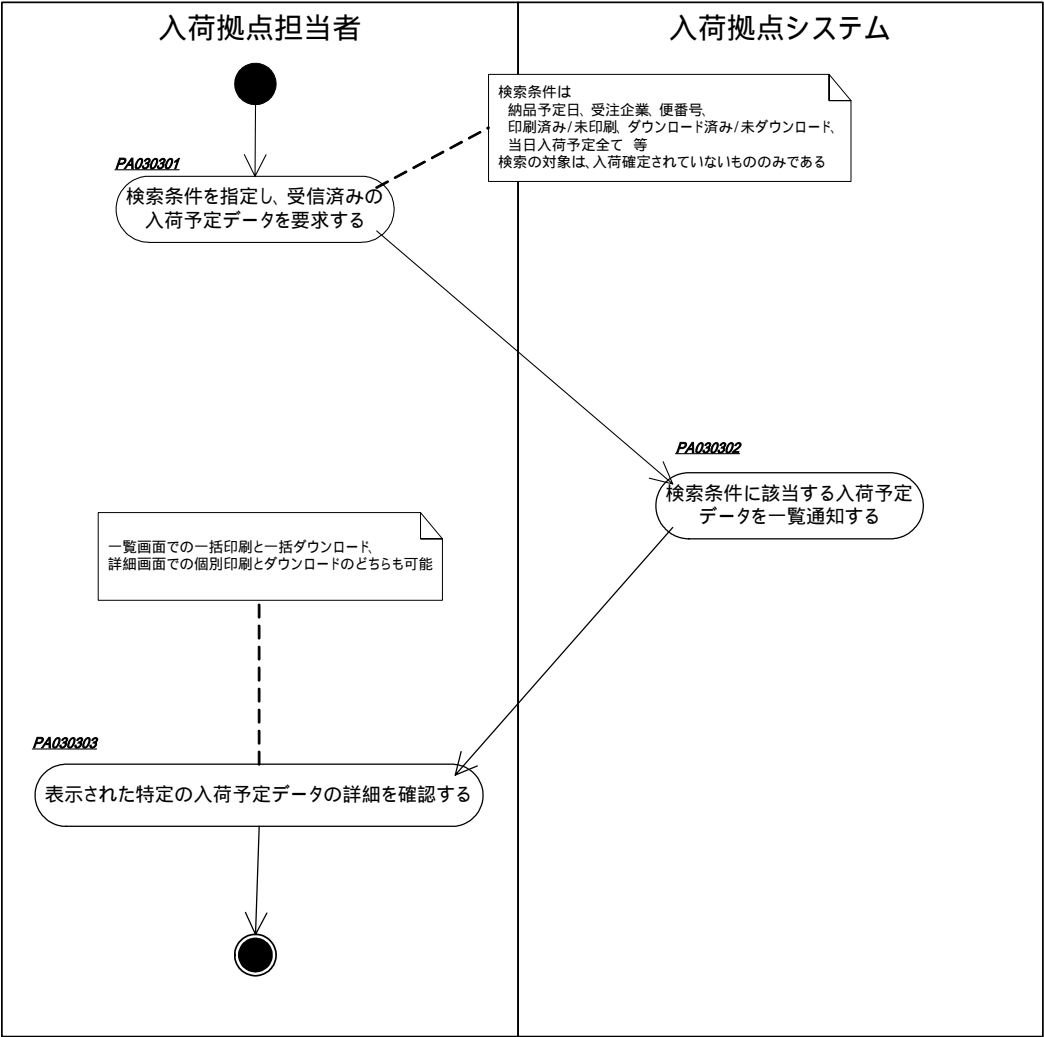
4.3.1 入荷予定通知送信(UC0301)・入荷予定通知受信(UC0302)



4.3.2 入荷予定参照(UC0303)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0303_入荷予定参照

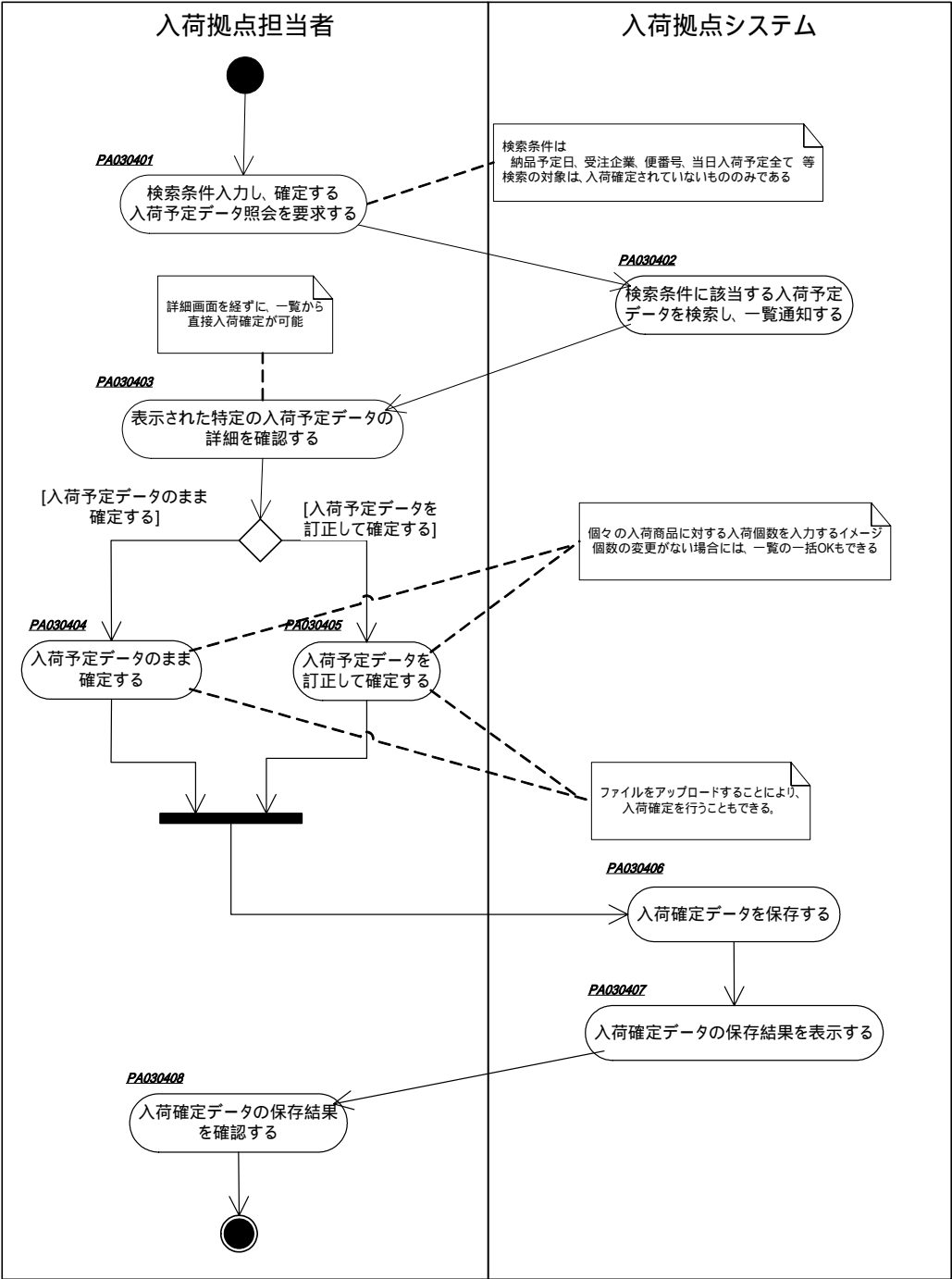
【概要】
入荷拠点担当者は、システムが出荷拠点より受信済みの入荷予定データを検索し、詳細確認を行う。
入荷拠点システムは、入荷拠点担当者の指示の通り、入荷予定データの検索処理、詳細表示処理を実行する。



4.3.3 入荷確定(UC0304)

【目的レベルアクティビティ図】
UC304 入荷確定

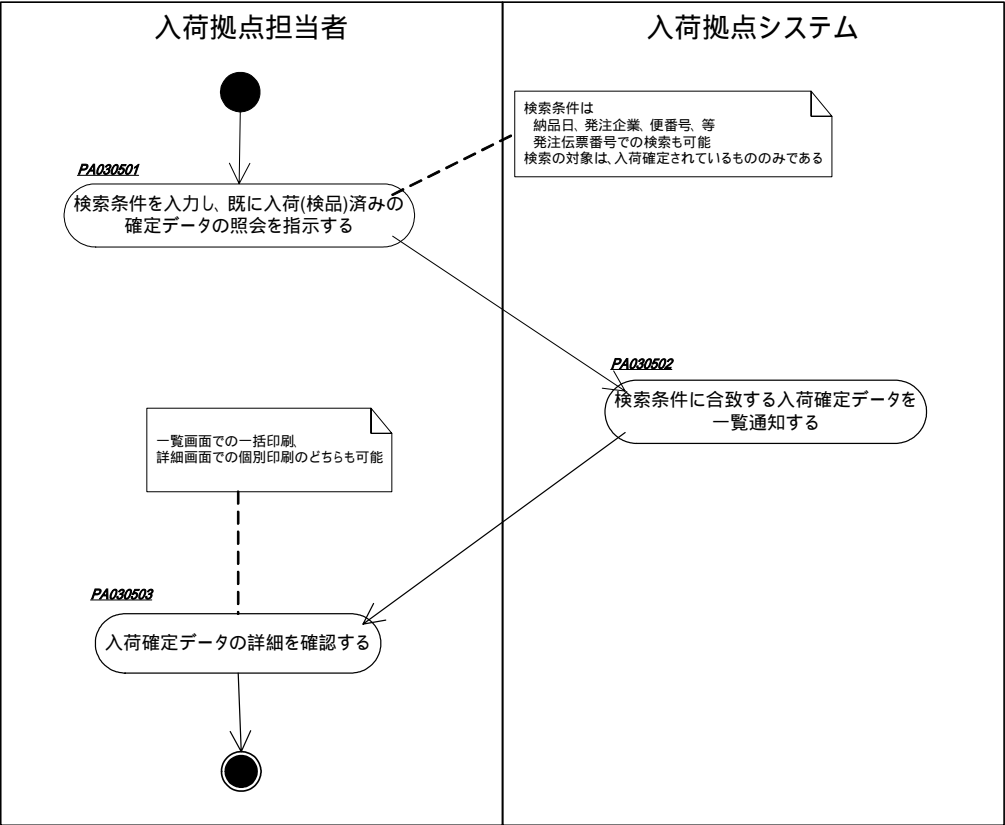
【概要】
入荷拠点担当者は、入荷(検品)完了後、入荷を確定する。
入荷拠点システムは、入力された入荷確定データを登録する。
入荷確定データ登録は、ファイルのアップロードによっても行うことができる。



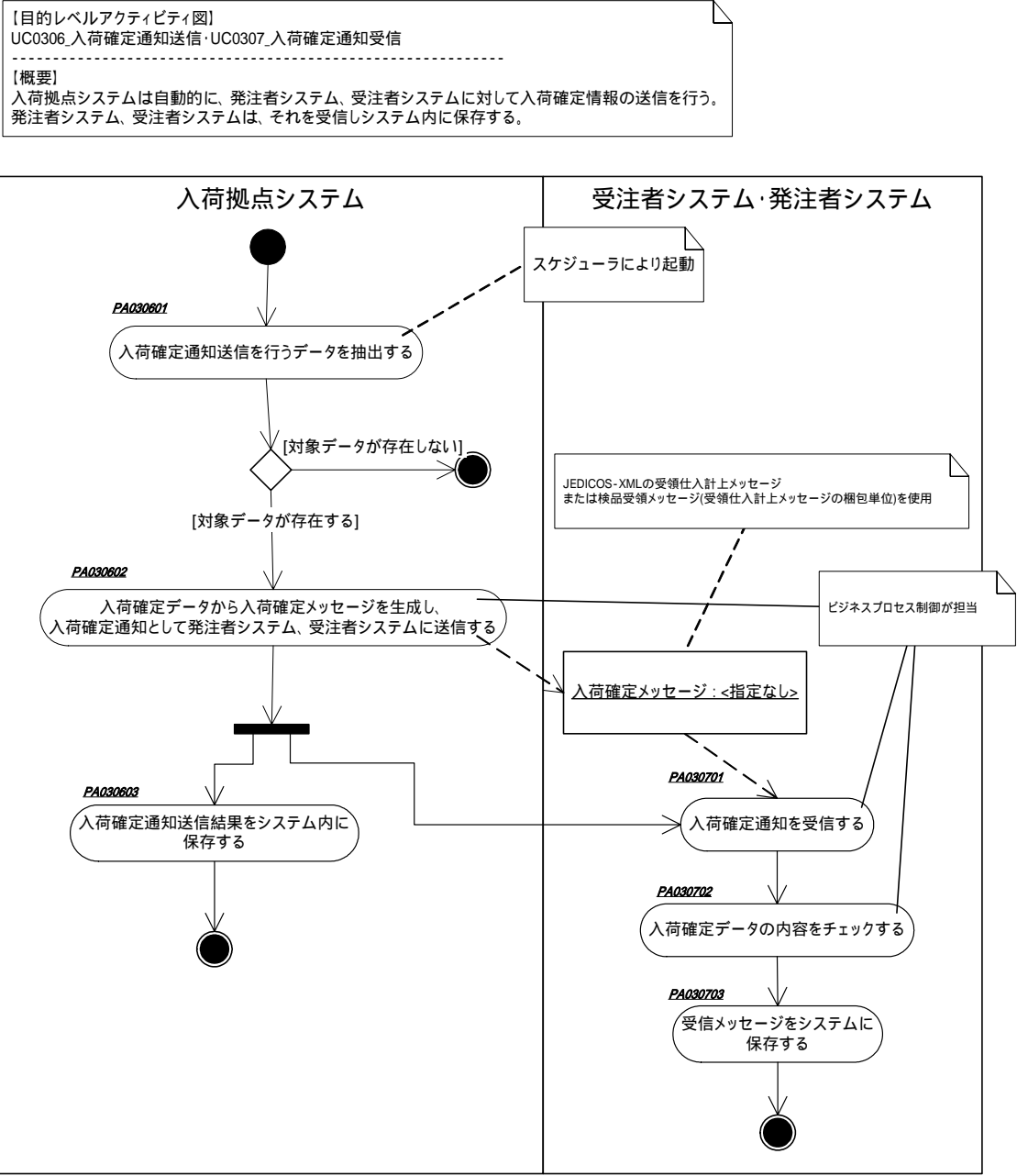
4.3.4 入荷履歴参照(UC0305)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0305_入荷履歴参照

【概要】
入荷拠点担当者は、過去の入荷確定データを検索、確認する。
入荷拠点システムは、検索条件に合致する入荷確定データの検索を実行し、詳細を表示する。
入荷履歴の情報は、ダウンロードすることができる。

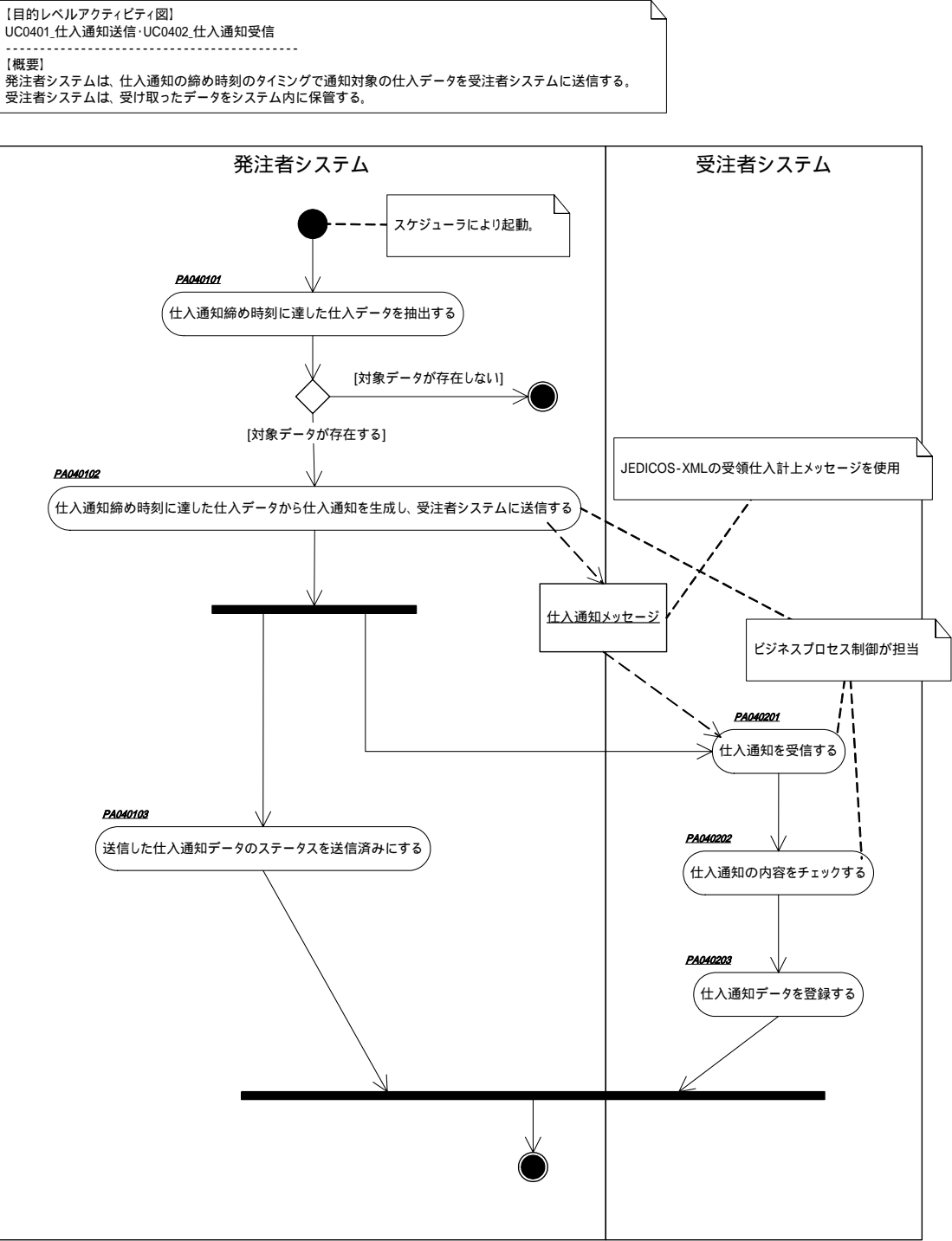


4.3.5 入荷確定通知送信(UC0306)・入荷確定通知受信(UC0307)



4.4 仕入確定に関する目的レベルアクティビティ図

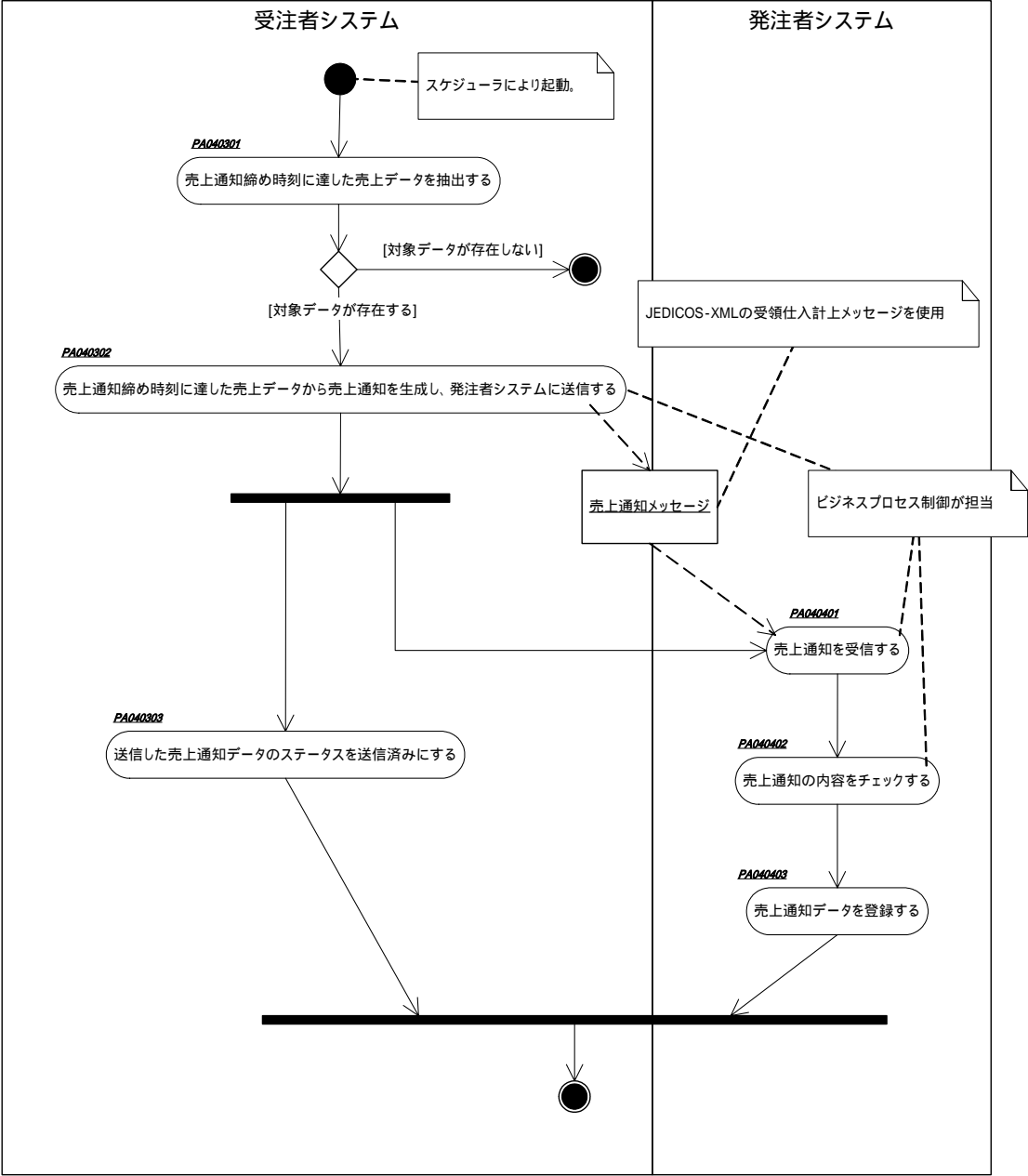
4.4.1 仕入通知送信(UC0401)・仕入通知受信(UC0402)



4.4.2 売上通知送信(UC0403)・売上通知受信(UC0404)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0403_売上通知送信・UC0404_売上通知受信

【概要】
受注者システムは、売上通知の締め時刻のタイミングで通知対象の売上データを発注者システムに送信する。
発注者システムは、受け取ったデータをシステム内に保管する。

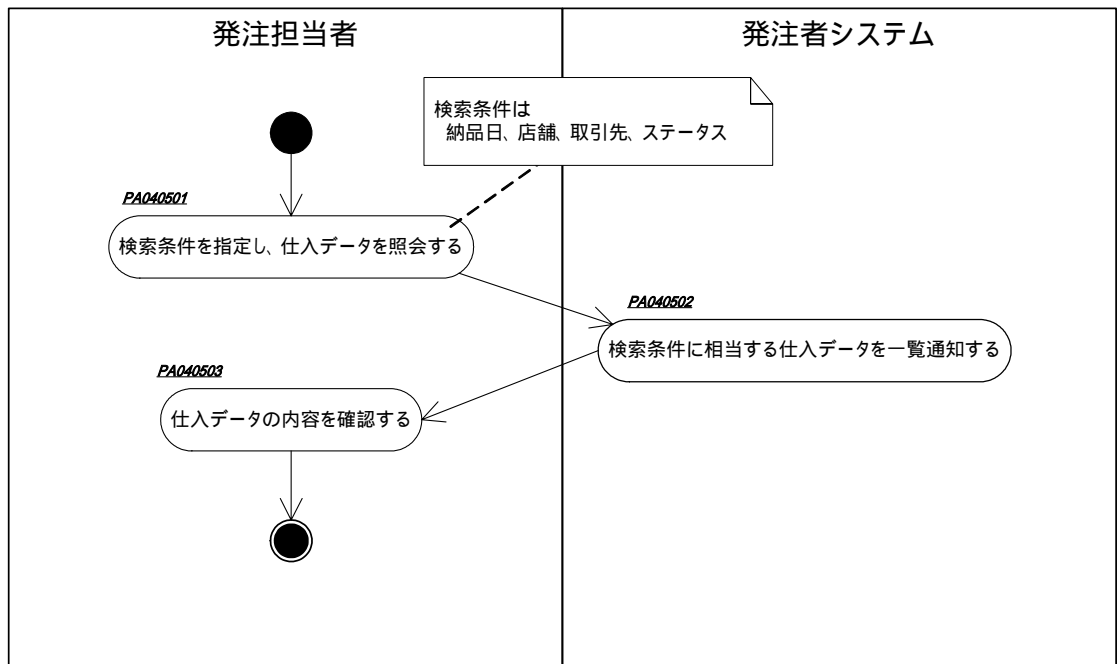


4.4.3 仕入データ参照(UC0405)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0405_仕入データ参照

【概要】

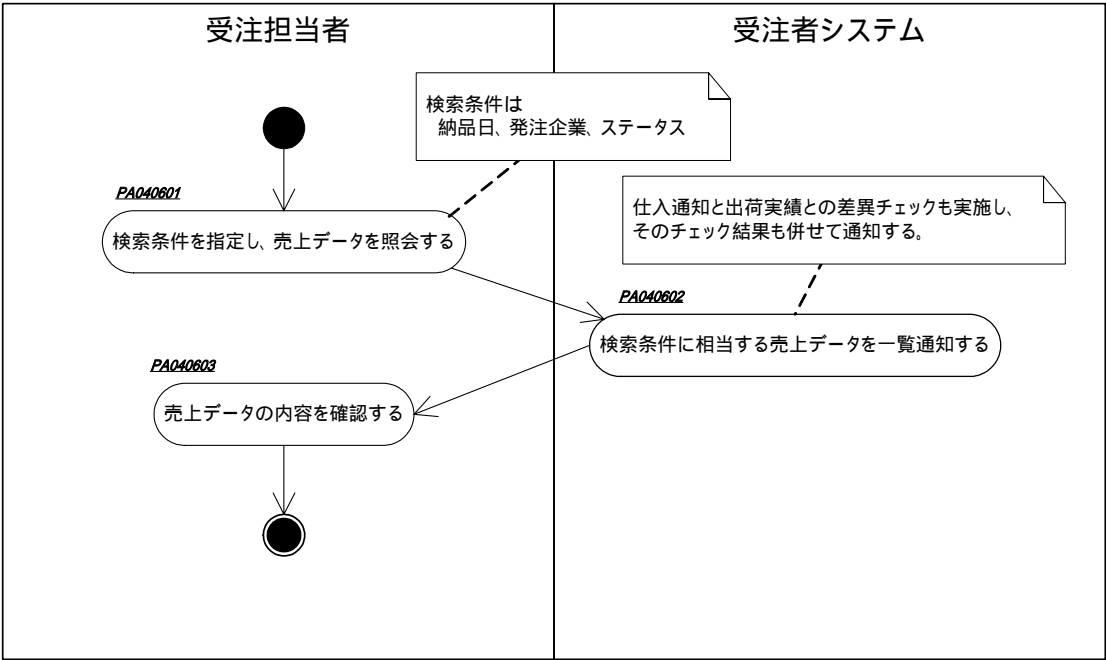
発注担当者(本部/店舗)が、仕入データの履歴、及びそれぞれの仕入データの通知ステータスを照会する。



4.4.4 売上データ参照(UC0406)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0406_売上データ参照

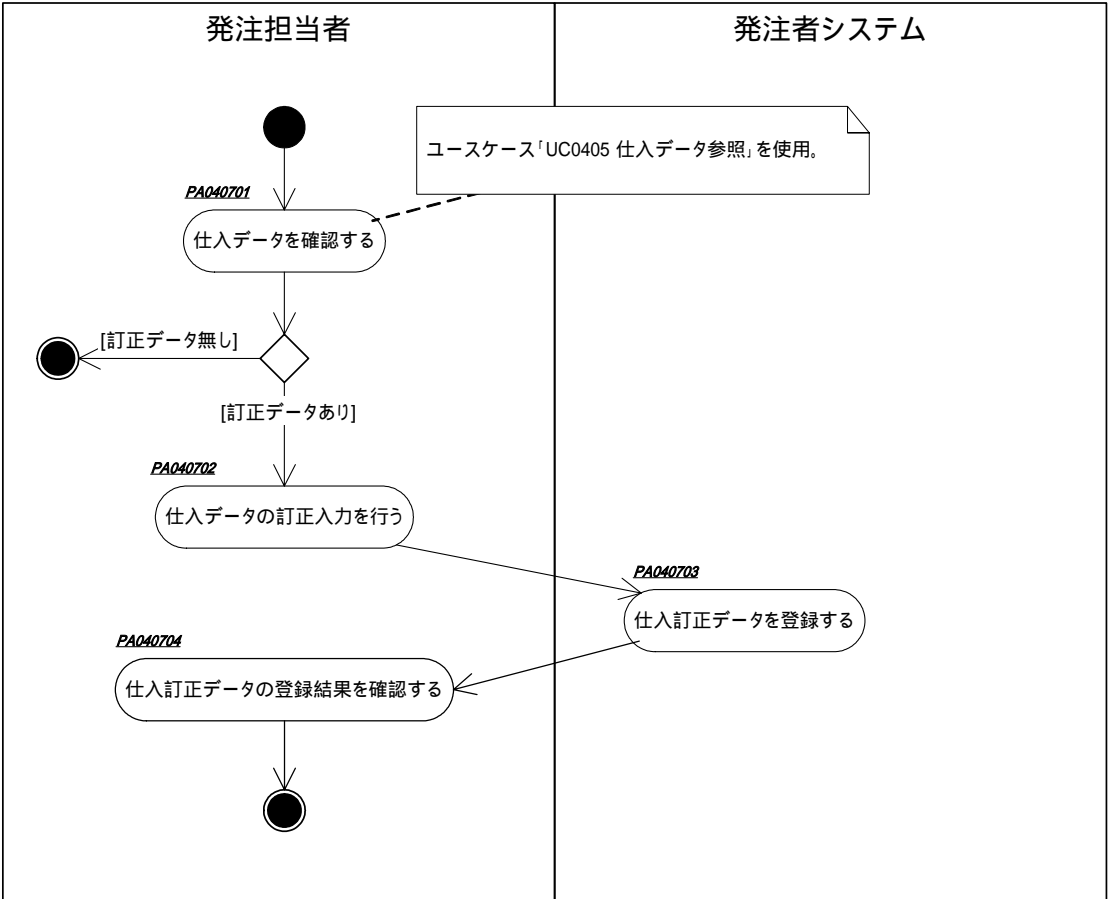
【概要】
受注担当者が、売上データの履歴、及び仕入通知と売上データ(出荷実績データ)との差異を確認する。



4.4.5 仕入訂正データ登録(UC0407)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0407_仕入訂正データ登録

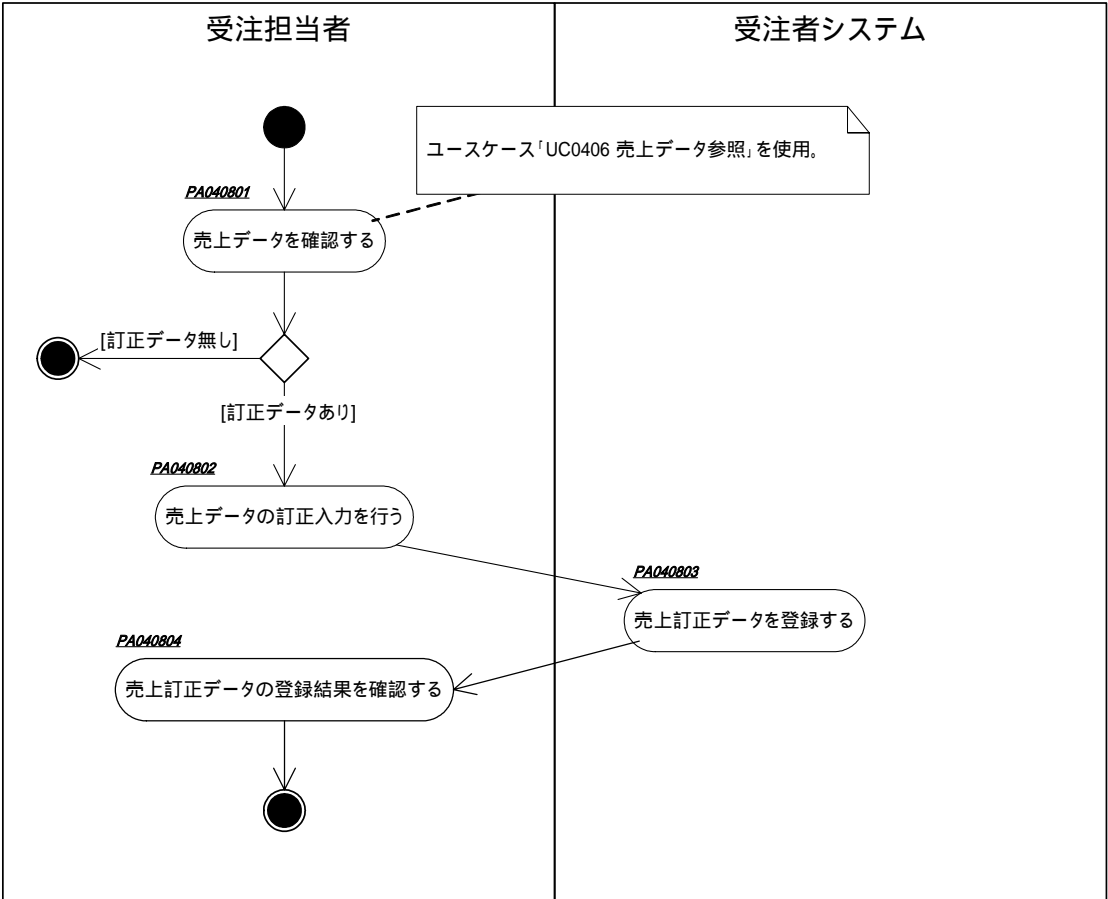
【概要】
発注担当者(本部 / 店舗)が、過去の仕入データに対する訂正データを新規にシステムに登録する。



4.4.6 売上訂正データ登録(UC0408)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0408 売上訂正データ登録

【概要】
受注担当者が、過去の売上データに対する訂正データを新規にシステムに登録する。

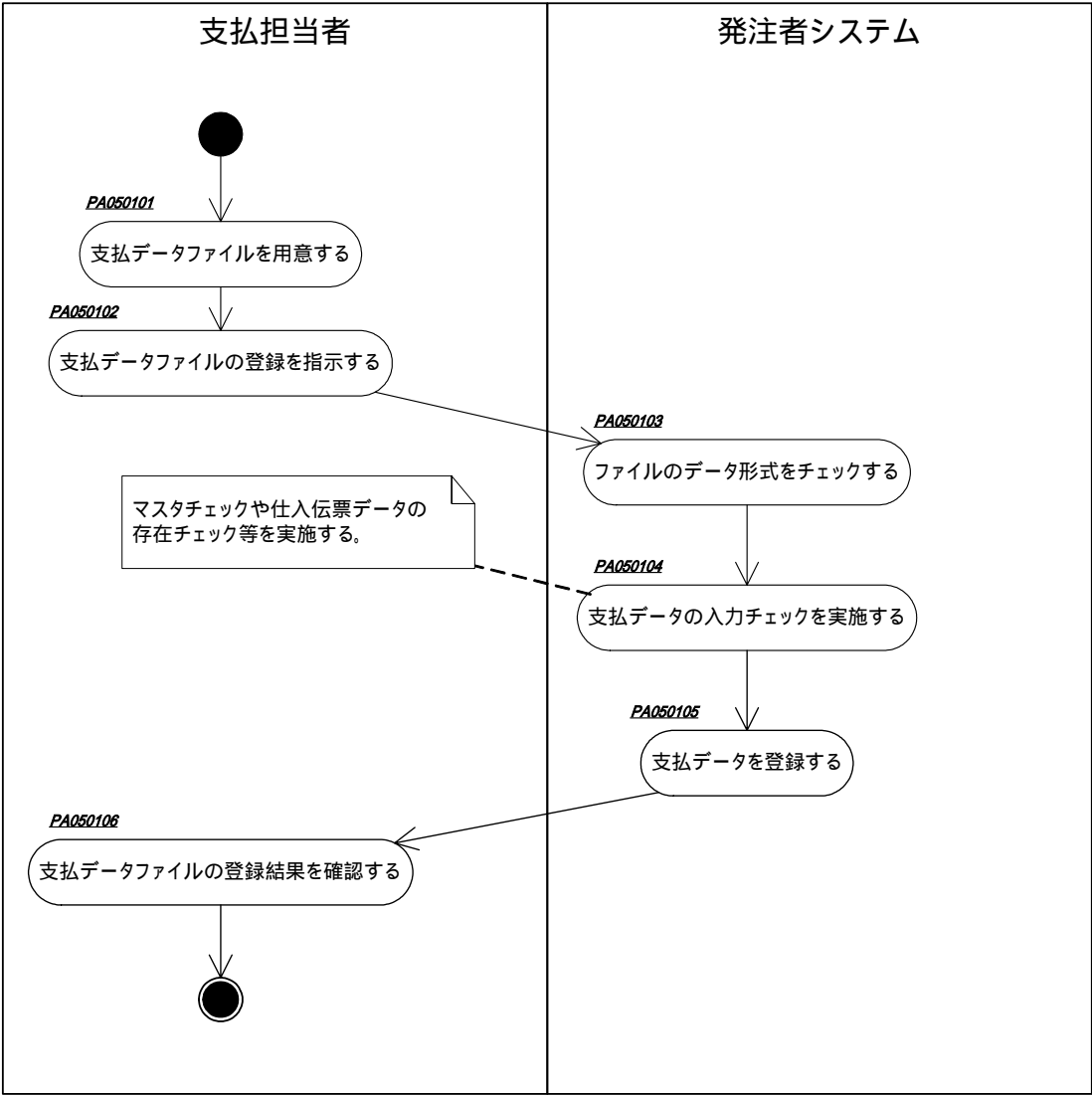


4.5 仕入確定に関する目的レベルアクティビティ図

4.5.1 支払データ作成(UC0501)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0501_支払データ作成

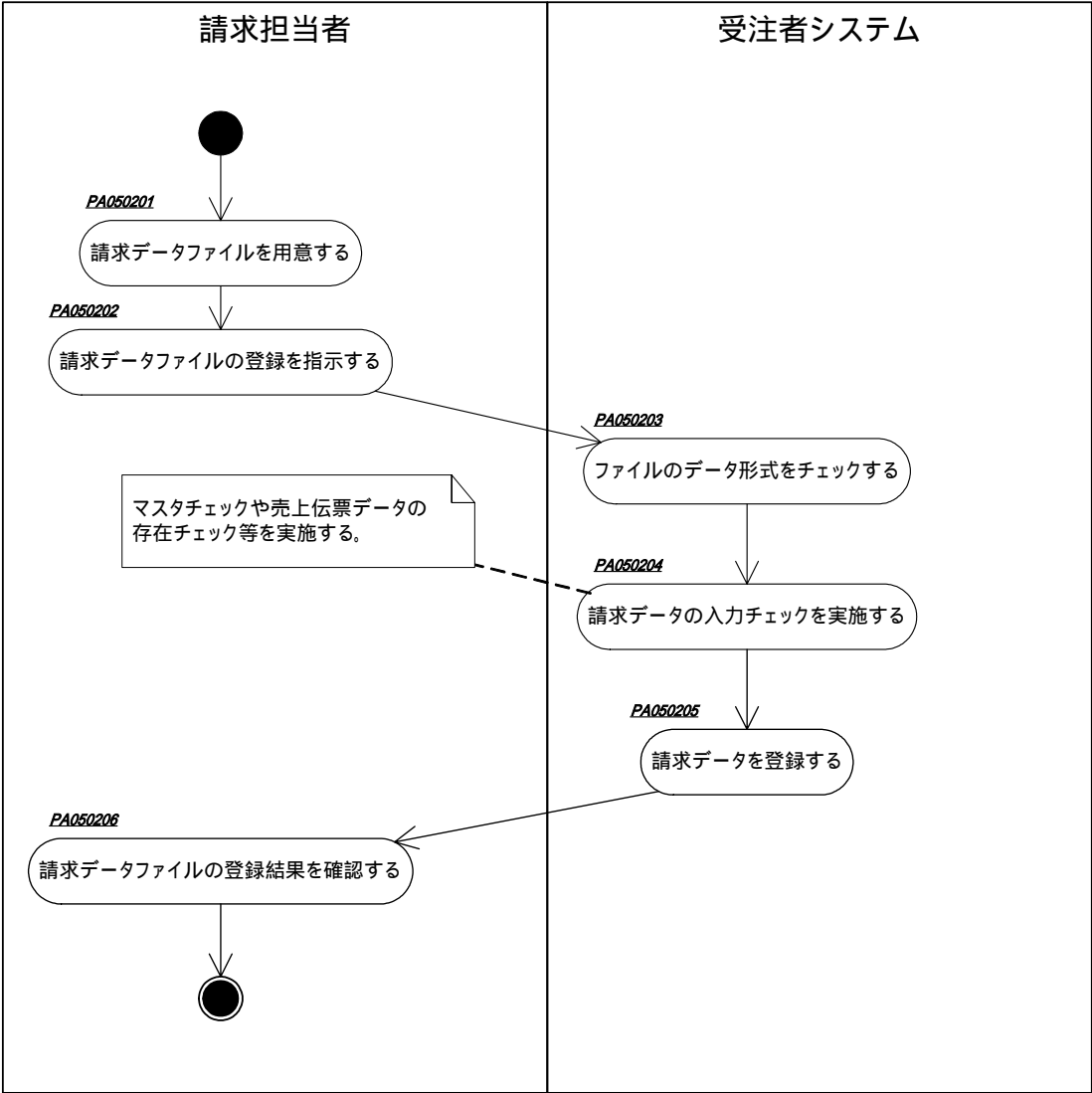
【概要】
支払担当者が、あらかじめ用意した支払データファイルを指定し、システムに登録する。



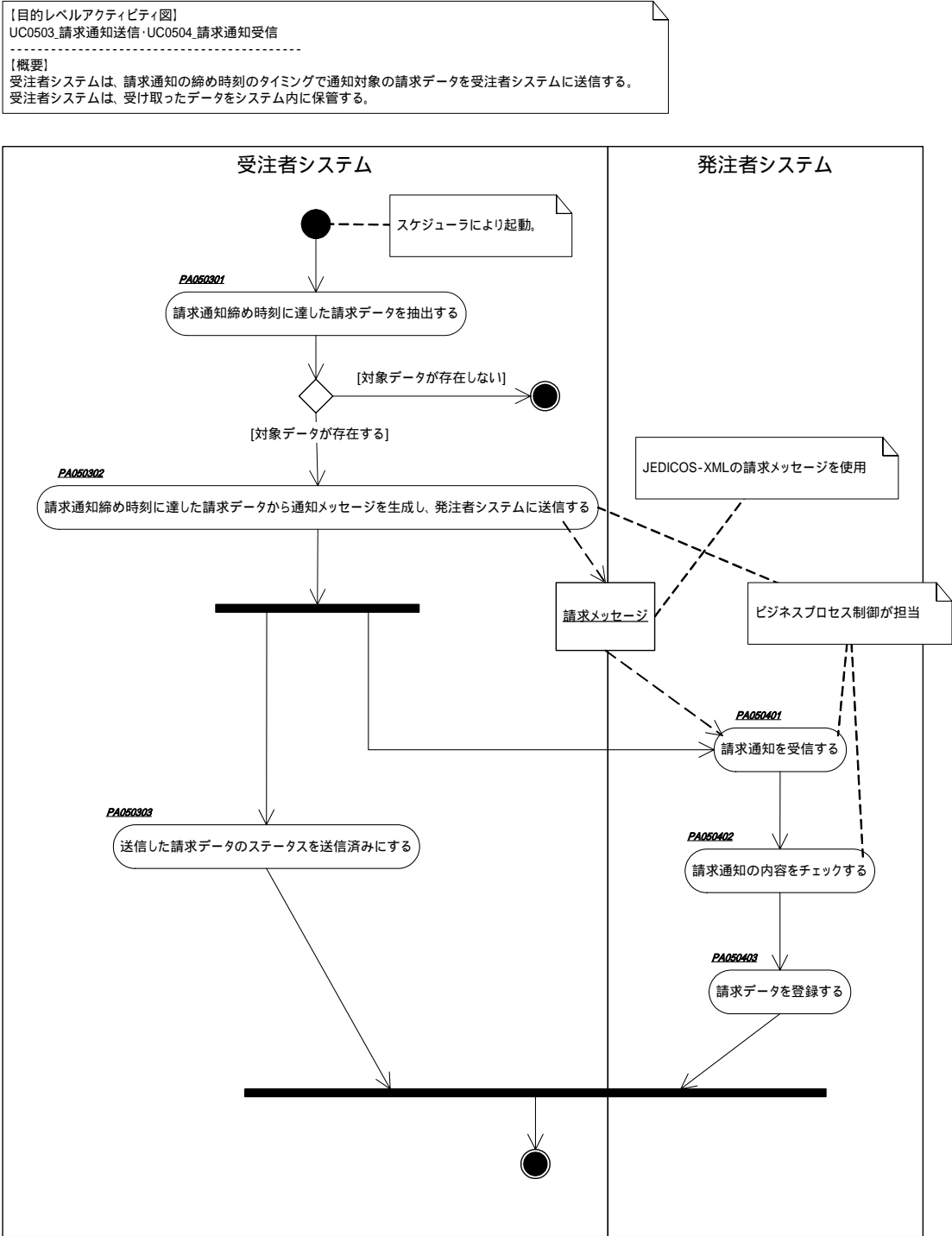
4.5.2 請求データ作成(UC0502)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0502_請求データ作成

【概要】
請求担当者が、あらかじめ用意した請求データファイルを指定し、システムに登録する。



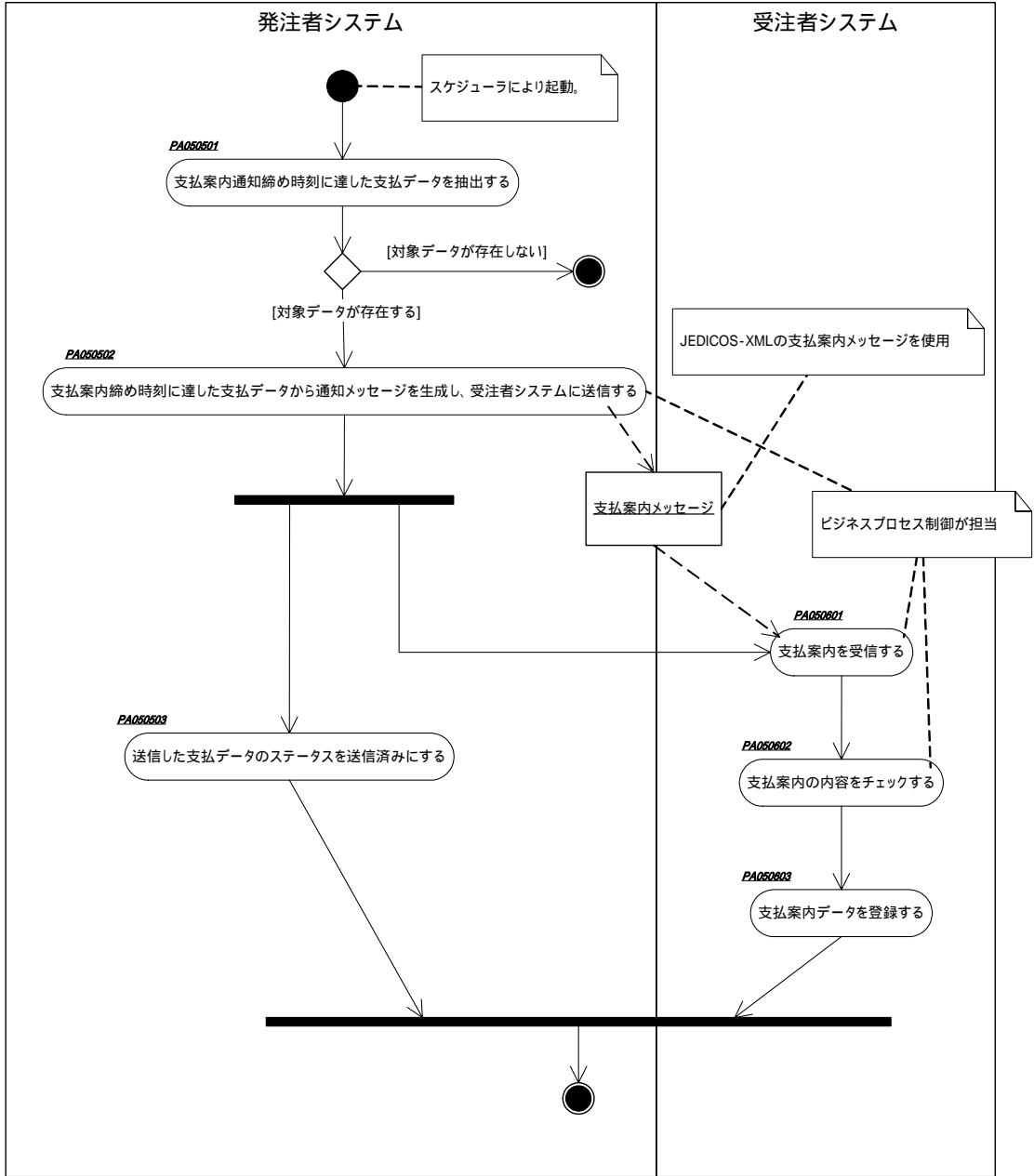
4.5.3 請求通知送信(UC0503)・請求通知受信(UC0504)



4.5.4 支払案内送信(UC0505)・支払案内受信(UC0506)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0505_支払案内送信・UC0506_支払案内受信

【概要】
発注者システムは、支払案内通知の締め時刻のタイミングで通知対象の支払案内データを受注者システムに送信する。
受注者システムは、受け取ったデータをシステム内に保管する。



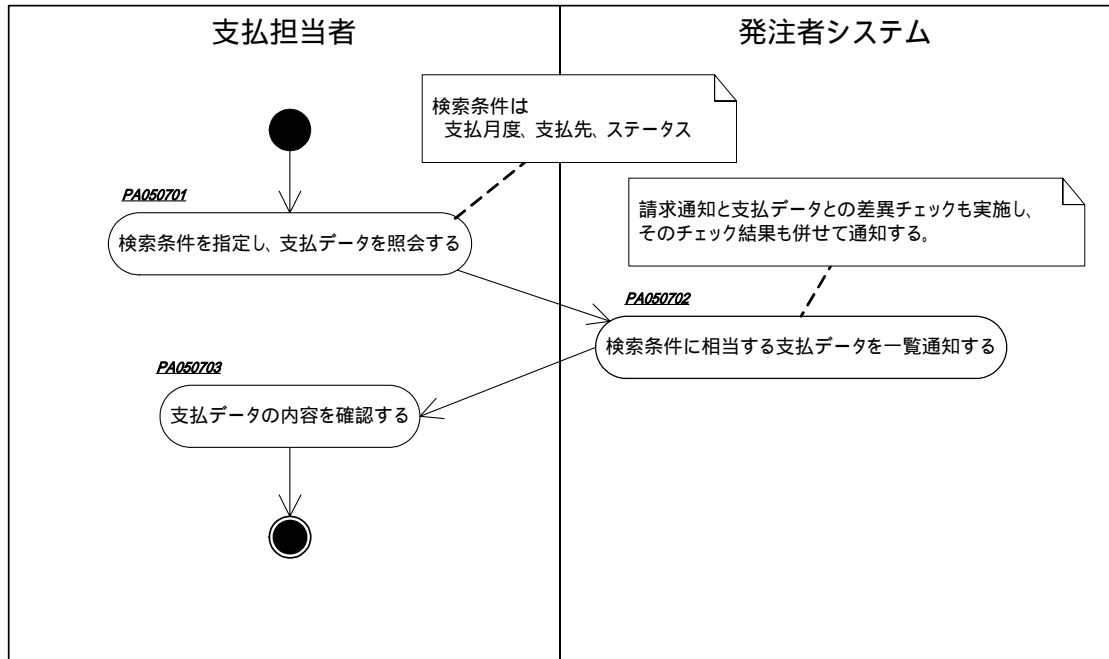
4.5.5 支払データ参照(UC0507)

【目的レベルアクティビティ図】

UC0507_支払データ参照

【概要】

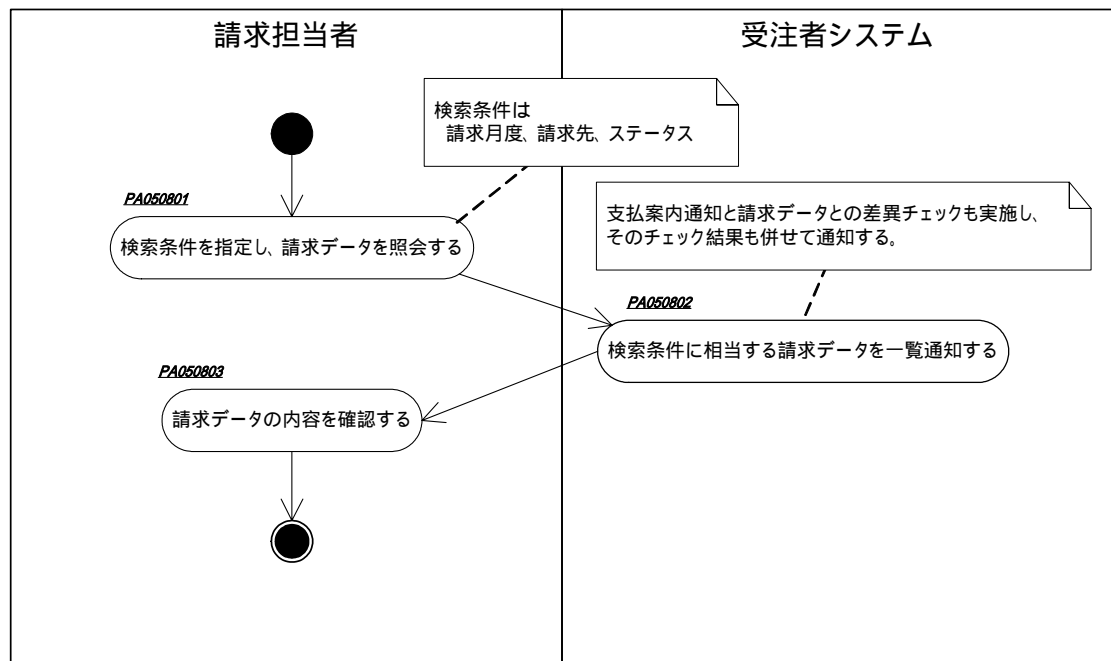
支払担当者が、支払データの履歴、ステータス、及び請求データと支払データとの差異を照会する。



4.5.6 請求データ参照(UC0508)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0508_請求データ参照

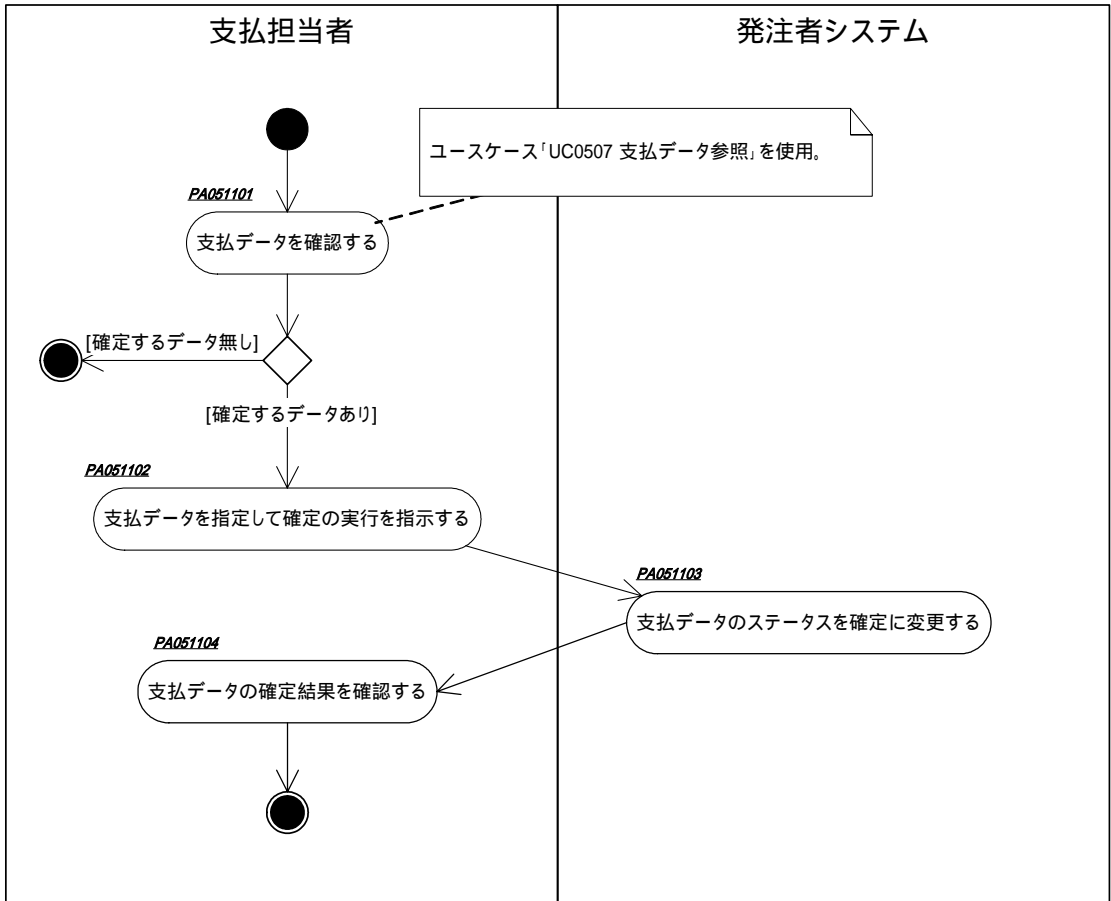
【概要】
請求担当者が、請求データの履歴、ステータス、及び支払案内データと請求データとの差異を照会する。



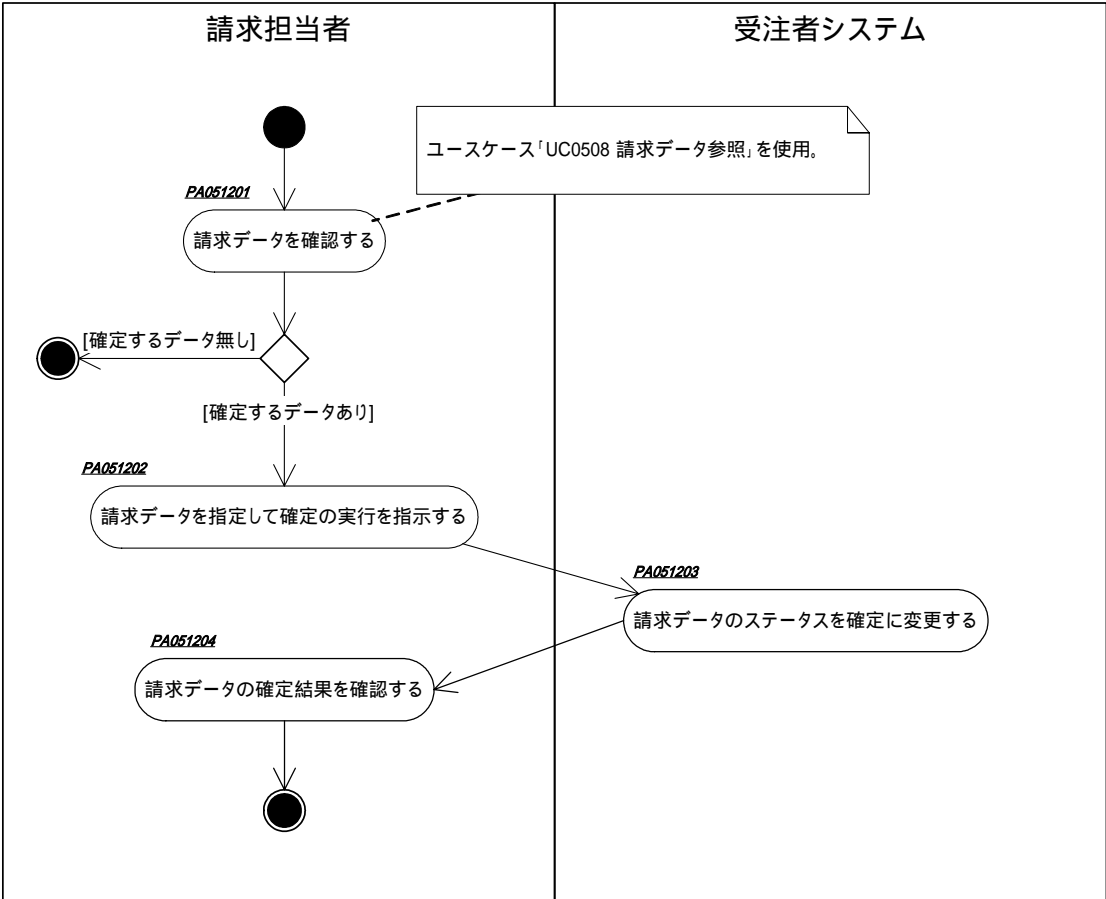
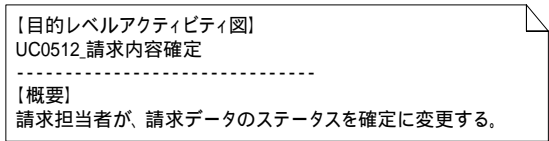
4.5.7 支払内容確定(UC0511)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0511_支払内容確定

【概要】
支払担当者が、支払データのステータスを確定に変更する。



4.5.8 請求内容確定(UC0512)



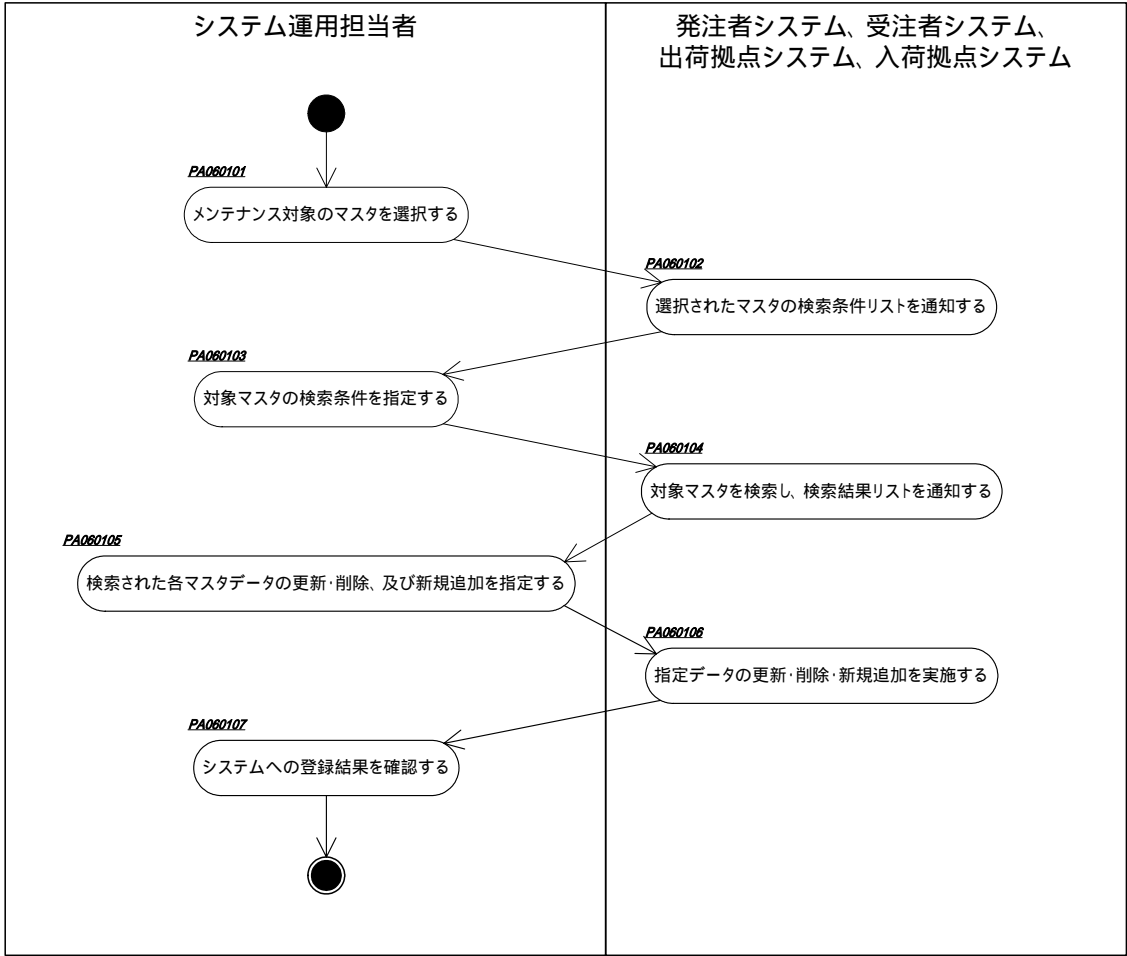
4.6 商品マスタ管理に関する目的レベルアクティビティ図

4.6.1 各種マスタメンテナンス(商品以外)(UC0601)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0601_各種マスタメンテナンス(商品以外)

【概要】
システム運用担当者が、各種マスタ情報(商品マスタ以外)のメンテナンスを実施する。

この機能は、発注者システム、受注者システム、出荷拠点システム、入荷拠点システムの4者全てが備える。



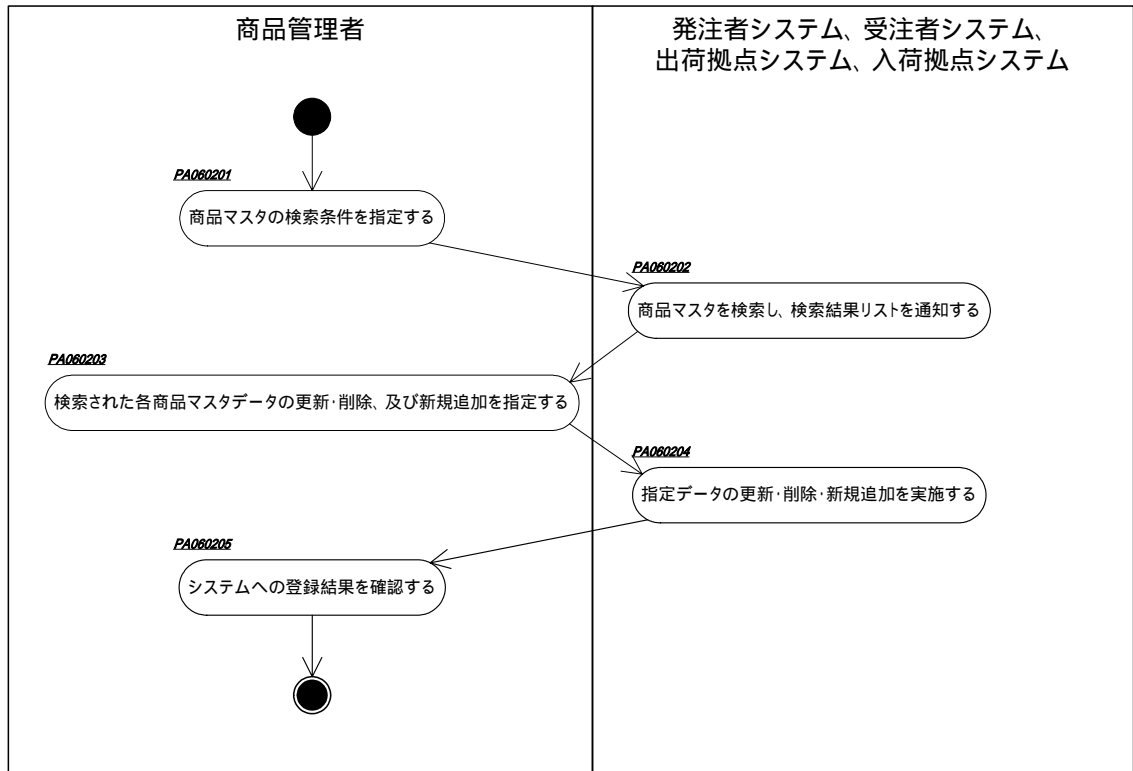
4.6.2 商品マスタメンテナンス(UC0602)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0602_商品マスタメンテナンス

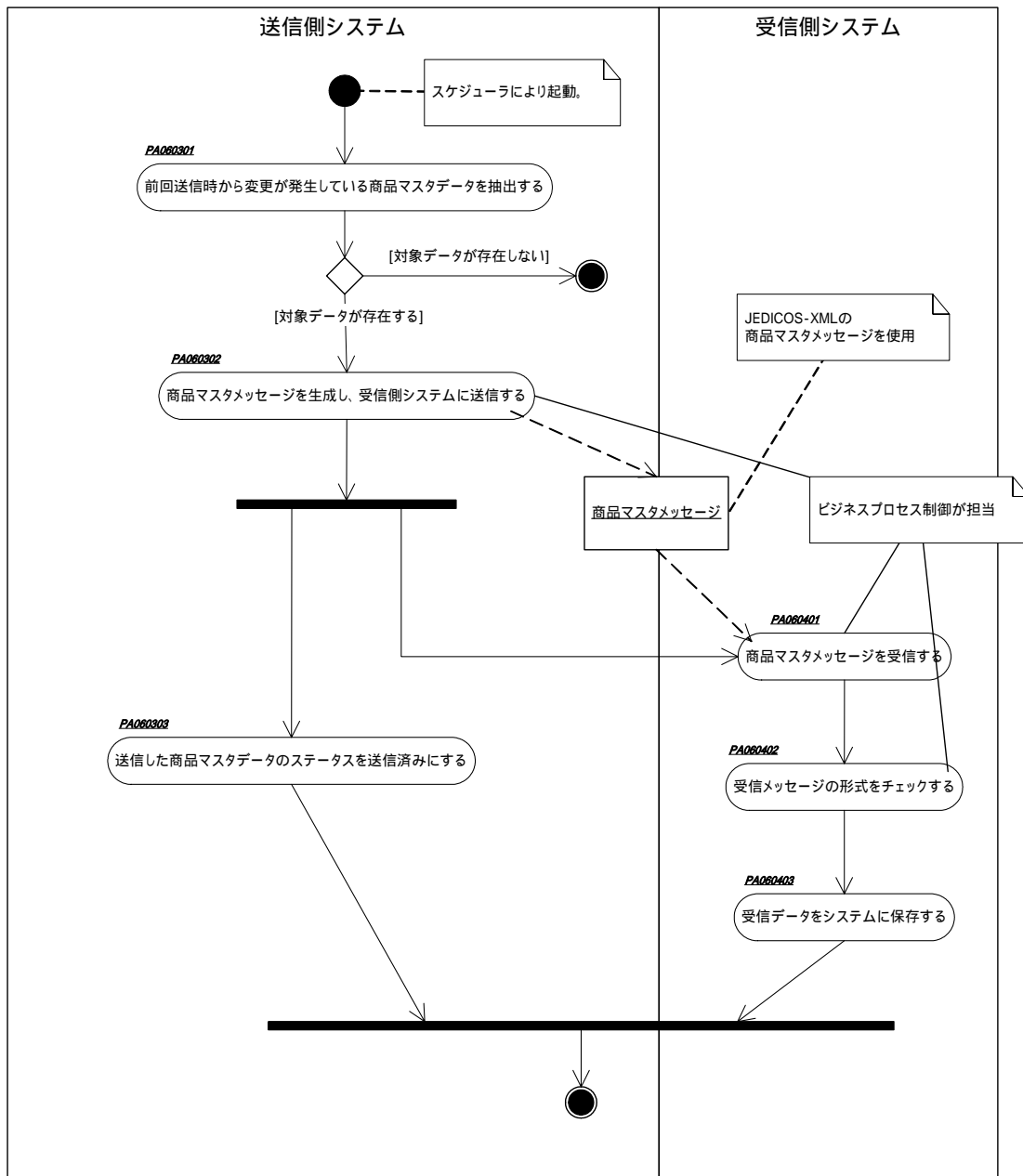
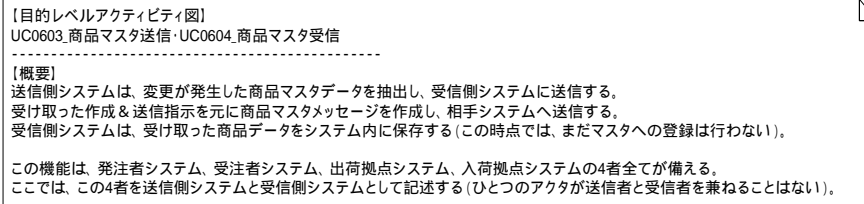
【概要】

商品管理者が、各商品のマスタ情報をメンテナンスする。

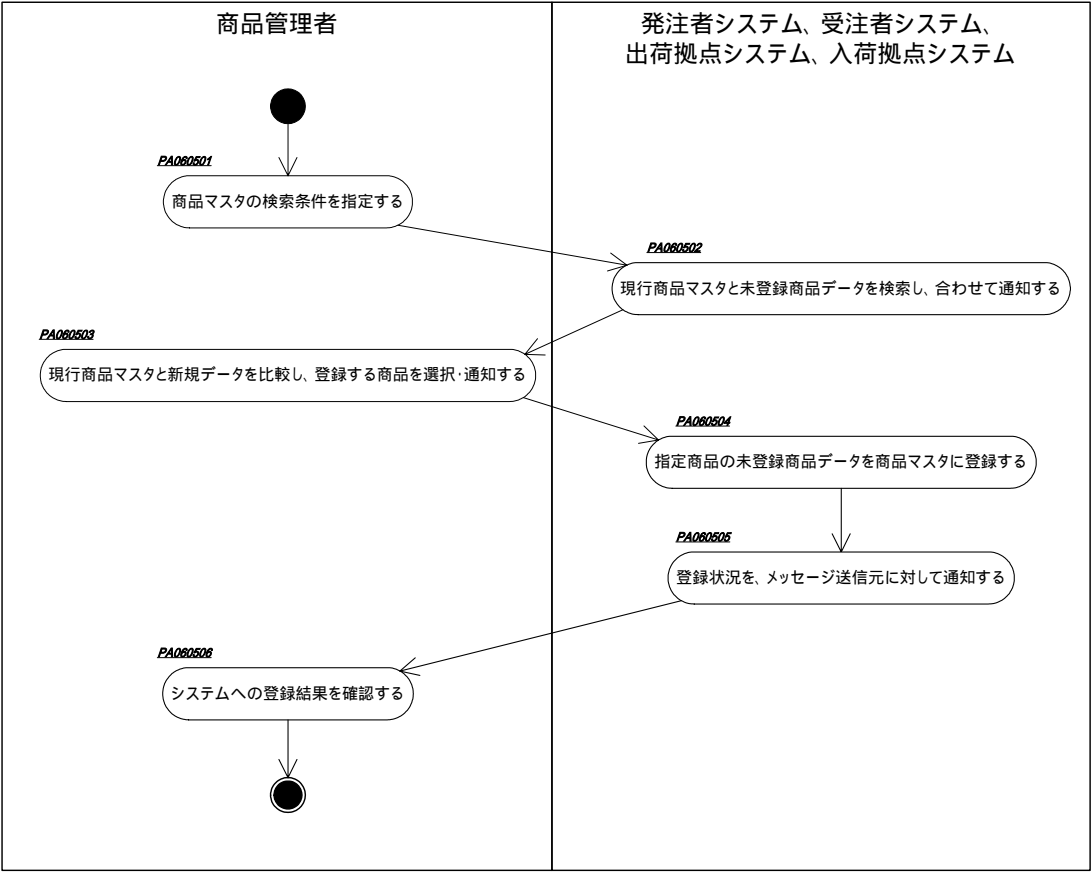
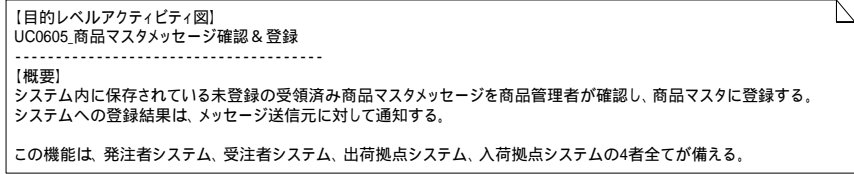
この機能は、発注者システム、受注者システム、出荷拠点システム、入荷拠点システムの4者全てが備える。



4.6.3 商品マスタ送信(UC0603)・商品マスタ受信(UC0604)



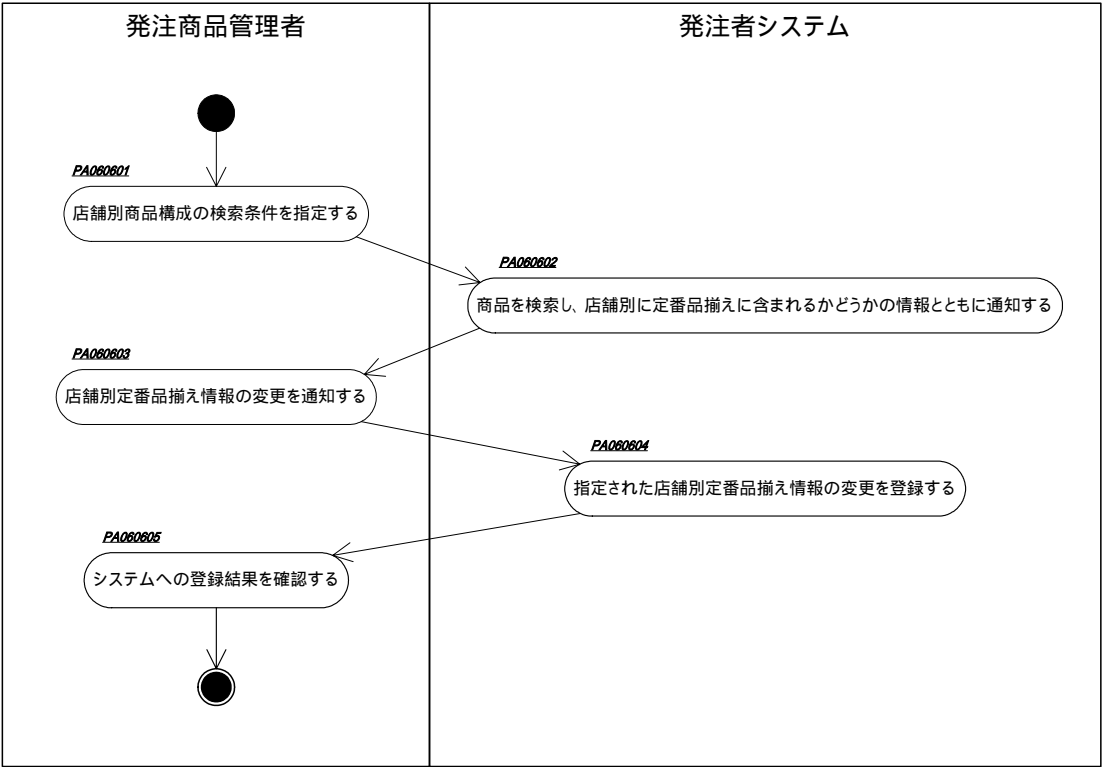
4.6.4 商品マスタメッセージ確認 & 登録(UC0605)



4.6.5 店舗別定番品揃えメンテナンス(UC0606)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0606_店舗別定番品揃えメンテナンス

【概要】
発注商品管理者が、各店舗別の定番品揃えをメンテナンスする。

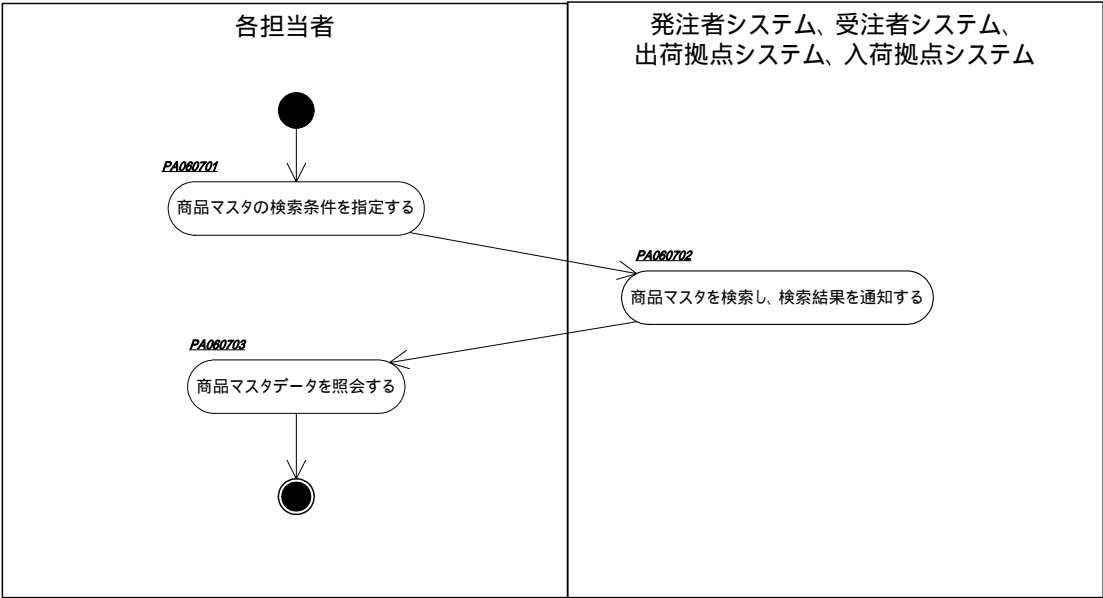


4.6.6 商品マスタ参照(UC0607)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0607_商品マスタ参照

【概要】
各担当者が、商品マスタを照会する。

この機能は、発注者システム、受注者システム、出荷拠点システム、入荷拠点システムの4者全てが備える。

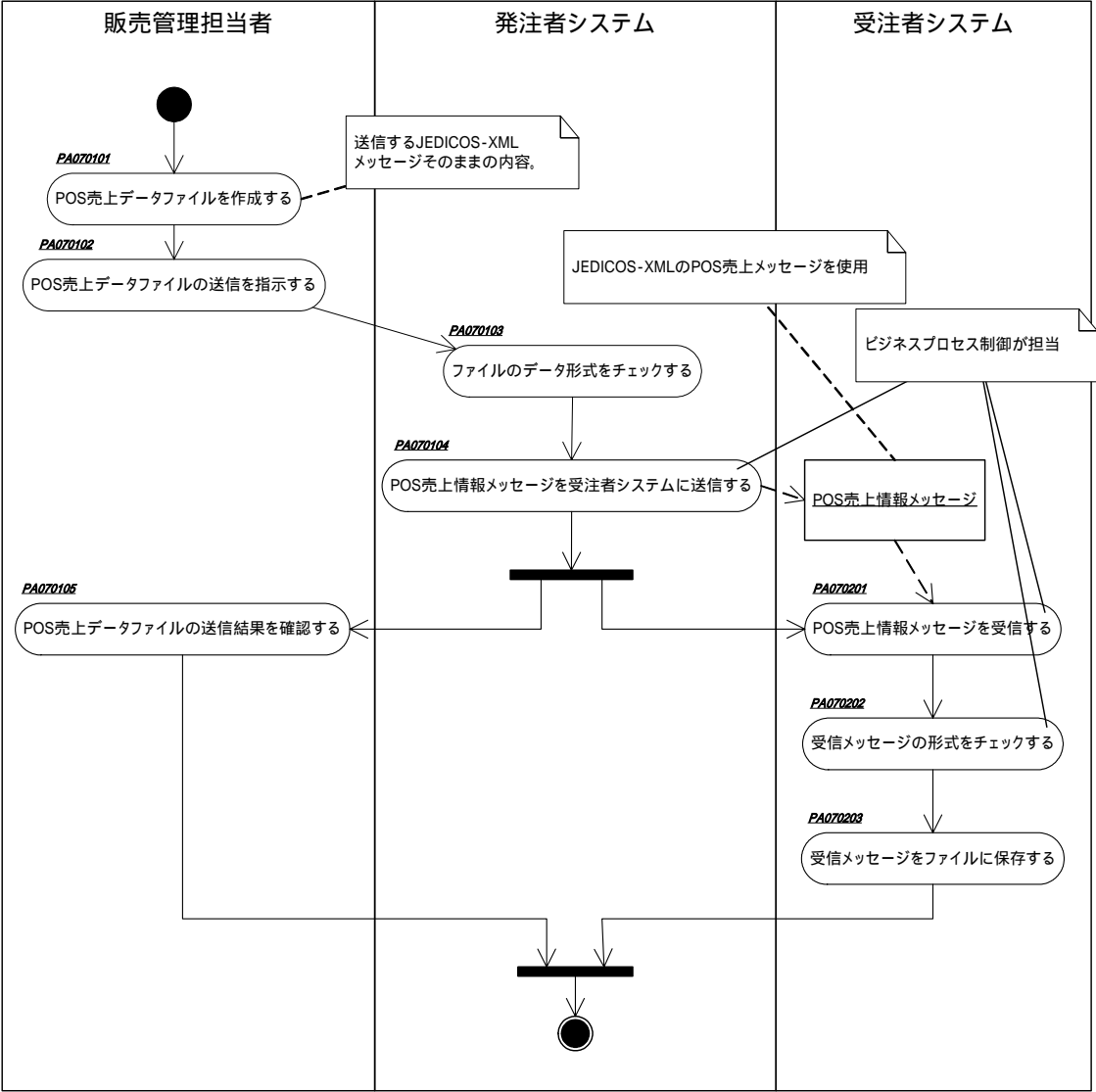


4.7 POS 売上データ交換に関する目的レベルアクティビティ図

4.7.1 POS 売上通知送信(UC0701)・POS 売上通知受信(UC0702)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0701_POS売上通知送信・UC0702_POS売上通知受信

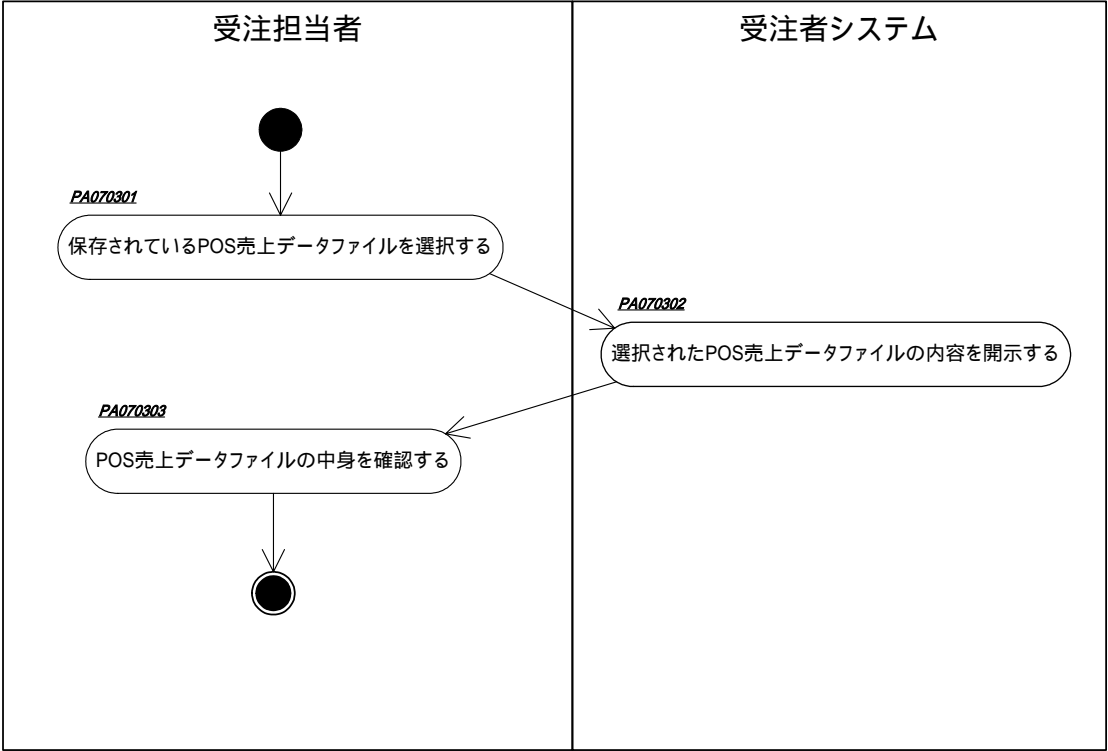
【概要】
販売管理担当者は、あらかじめ用意したPOS売上データファイル(JEDICOS-XML)を指定し、システムに送信指示を通知する。
発注者システムは、受け取った送信指示を元に受注者システムへPOS売上データファイルを送信する。
受注者システムは受け取ったデータをシステム内に保存する。



4.7.2 POS 売上通知確認(UC0703)

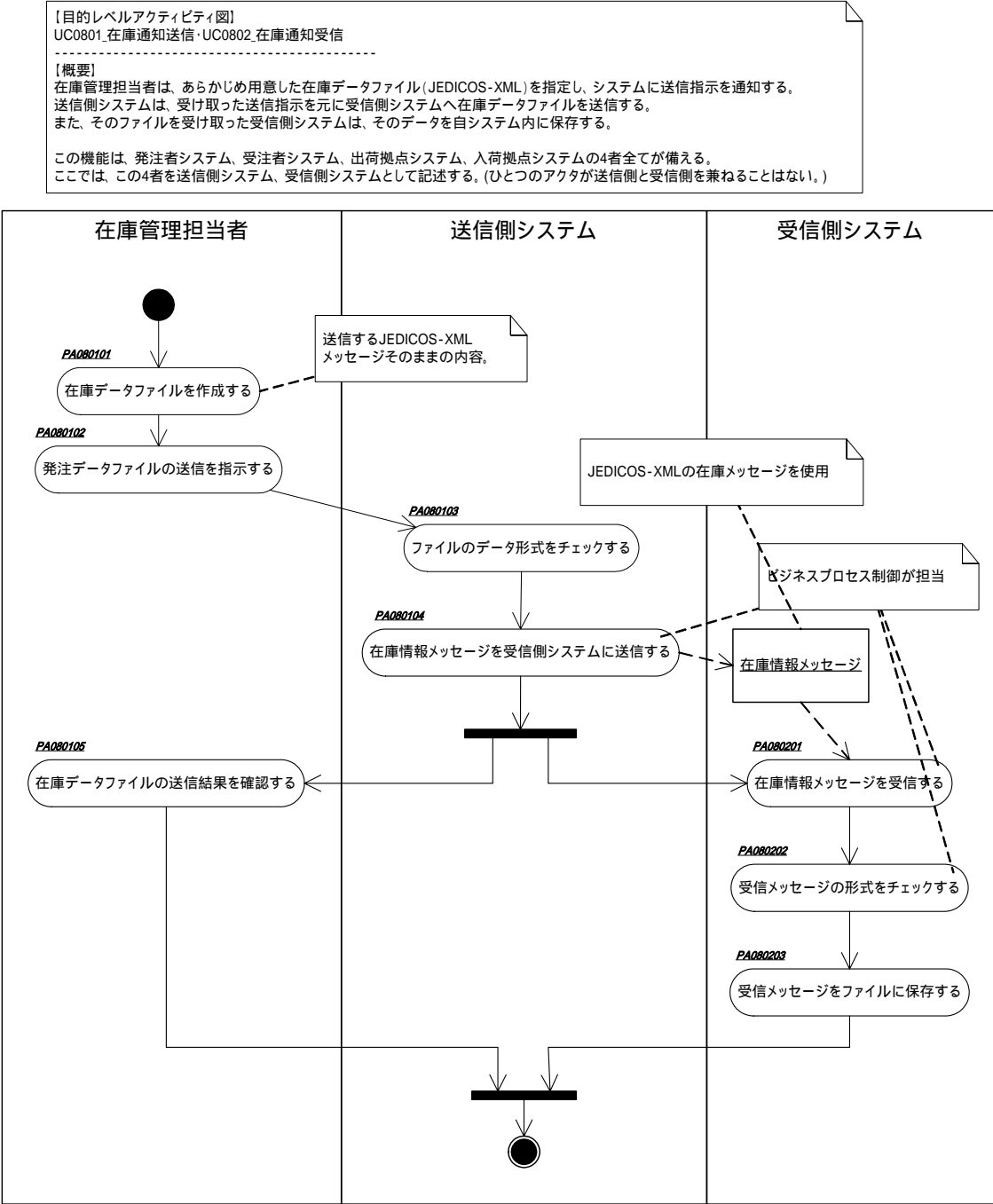
【目的レベルアクティビティ図】
UC0703_POS売上通知確認

【概要】
受注担当者が、発注者システムから送信されたPOS売上データファイルを確認する(ファイルを直接参照する)。



4.8 在庫データ交換に関する目的レベルアクティビティ図

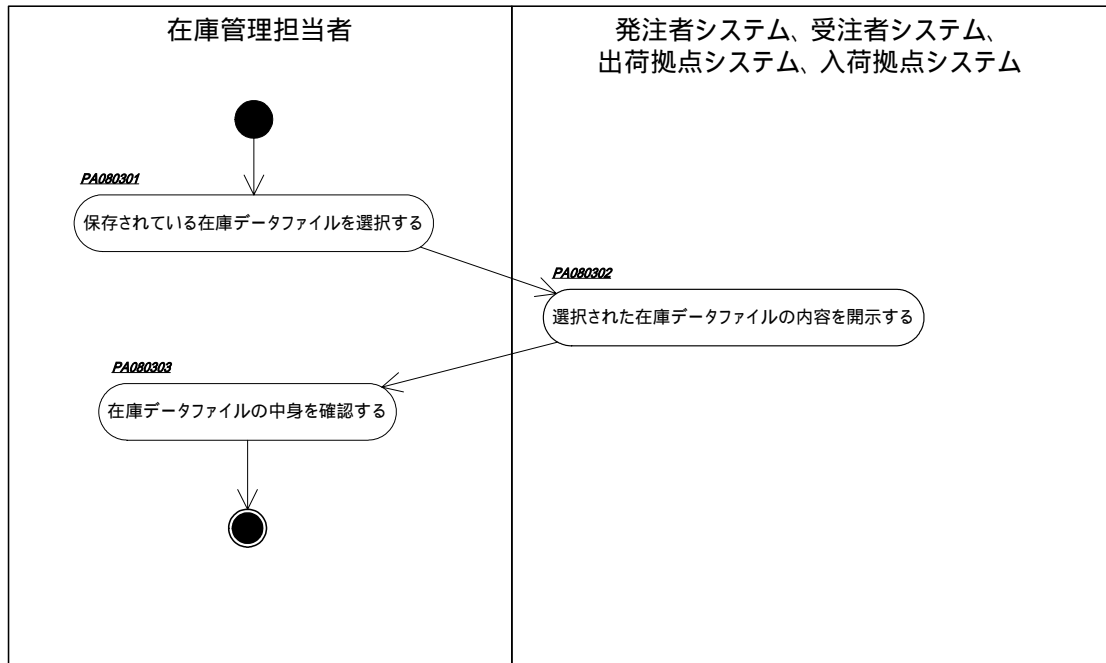
4.8.1 在庫通知送信(UC0801)・在庫通知受信(UC0802)



4.8.2 在庫通知確認(UC0803)

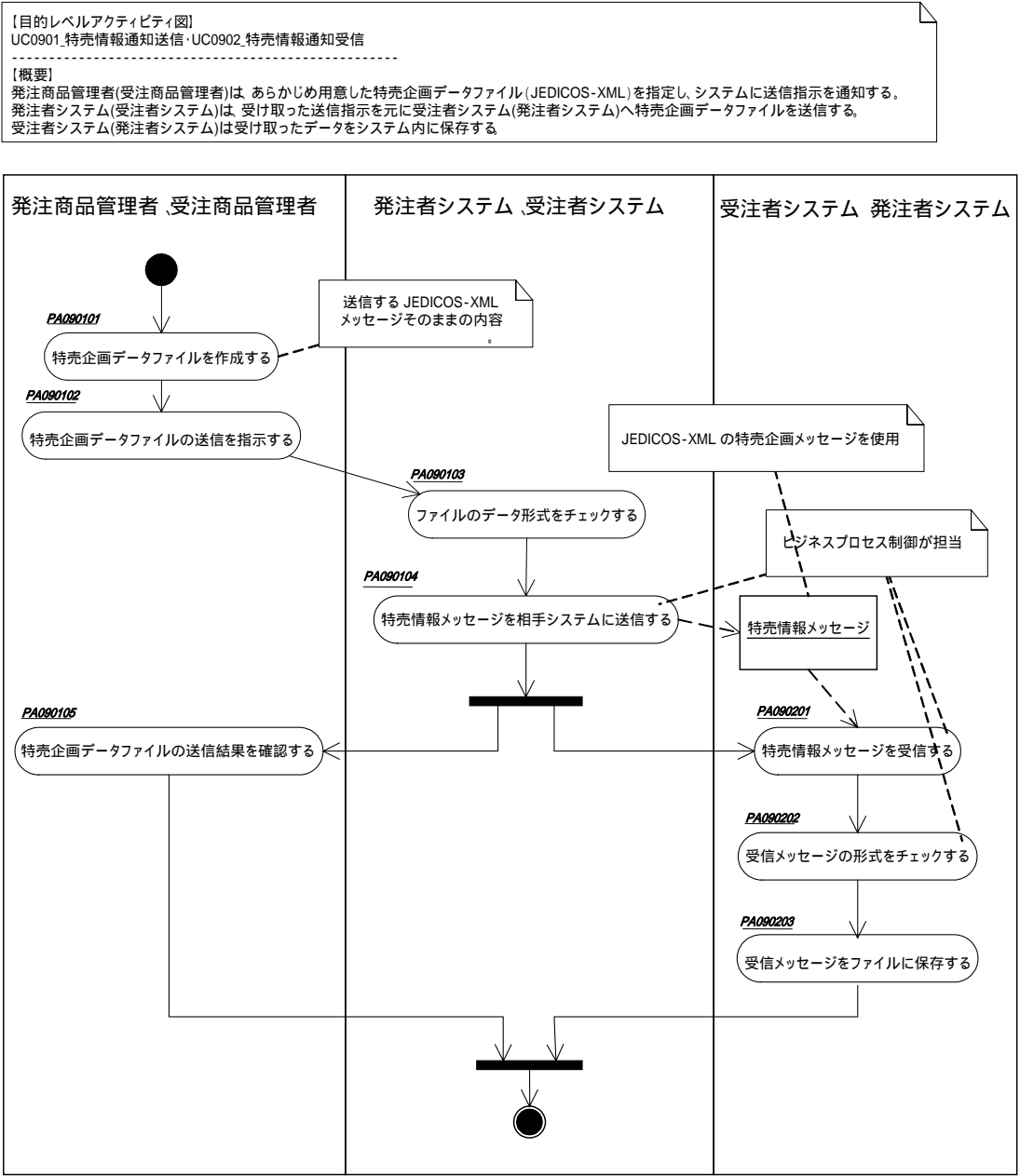
【目的レベルアクティビティ図】
UC0803.在庫通知確認

【概要】
在庫管理担当者が、相手取引先のシステムから送信された在庫データファイルを確認する（ファイルを直接参照する）。
この機能は、発注者システム、受注者システム、出荷拠点システム、入荷拠点システムの4者全てが備える。



4.9 特売企画データ交換に関する目的レベルアクティビティ図

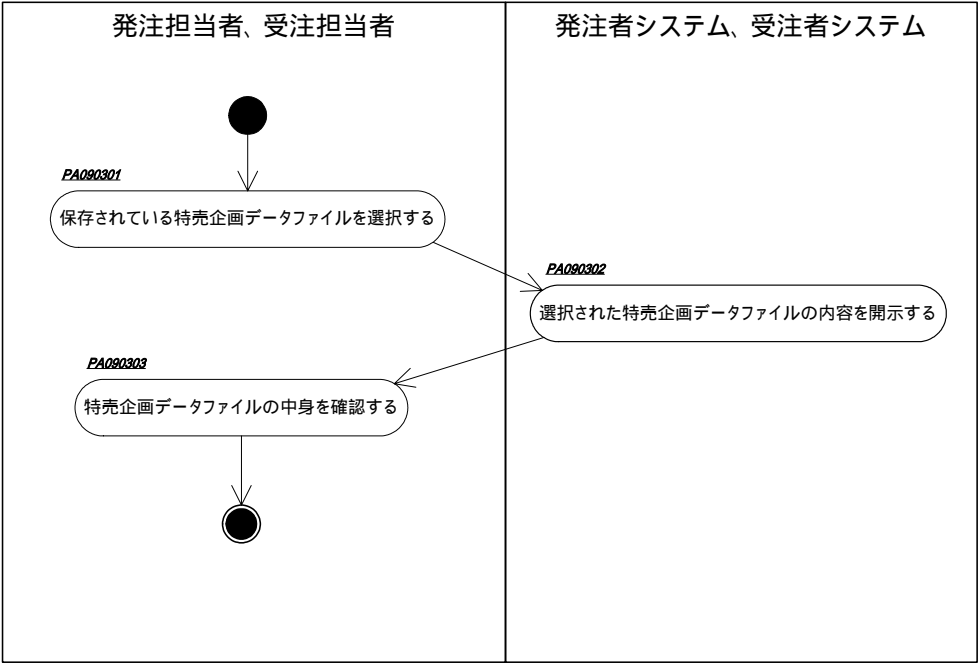
4.9.1 特売情報通知送信(UC0901)・特売情報通知受信(UC0902)



4.9.2 特売情報通知確認(UC0903)

【目的レベルアクティビティ図】
UC0903 特売情報通知確認

【概要】
発注担当者(受注担当者)が、発注者システム(受注者システム)から送信された特売企画データファイルを確認する(ファイルを直接参照する)。



付録．１ アクター一覧

利用者分類	システム利用者	説明
発注者	発注担当者	発注業務を遂行する役割を担う。
	支払担当者	発注に関連する決済業務を遂行する役割を担う。
	発注商品管理者	発注者側で管理する商品情報のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	発注者システム運用担当者	発注者側で管理する商品情報以外の情報(店舗、店舗グループ、商品カテゴリ、卸企業等の情報)のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	発注在庫管理担当者	発注者側の在庫管理業務を遂行する役割を担う。
	販売管理担当者	発注者側の POS 売上管理業務を遂行する役割を担う。
	発注企業各担当者	上記発注者側担当者の総称。
受注者	受注担当者	受注業務を遂行する役割を担う。
	請求担当者	受注に関連する決済業務を遂行する役割を担う。
	受注商品管理者	受注者側で管理する商品情報のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	受注者システム運用担当者	受注者側で管理する商品情報以外の情報(小売企業、小売店舗、商品カテゴリ等の情報)のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	受注在庫管理担当者	受注者側の在庫管理業務を遂行する役割を担う。
	受注企業各担当者	上記受注者側担当者の総称。
入荷拠点	入荷担当者	入荷拠点において入荷・検品業務を遂行する役割を担う。
	入荷商品管理者	入荷拠点側で管理する商品情報のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	入荷拠点システム運用担当者	入荷拠点側で管理する商品情報以外の情報(小売企業、小売店舗、商品カテゴリ等の情報)のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	入荷拠点在庫管理担当者	入荷拠点側の在庫管理業務を遂行する役割を担う。
	入荷拠点企業各担当者	上記入荷拠点側担当者の総称
出荷拠点	出荷担当者	出荷拠点において、出荷業務を遂行する役割を担う。
	出荷商品管理者	出荷拠点側で管理する商品情報のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	出荷拠点システム運用担当者	出荷拠点側で管理する商品情報以外の情報(小売企業、小売店舗、商品カテゴリ等の情報)のメンテナンスを遂行する役割を担う。
	出荷拠点在庫管理担当者	出荷拠点側の在庫管理業務を遂行する役割を担う。
	出荷拠点企業各担当者	上記出荷拠点側担当者の総称
その他	スケジューラ	時刻起動の処理を制御する役割を担う。